京城日報
十一日　夕刊　(火)
編輯兼發行人　熊谷寬一
印刷人　小川三之介
發行所　京城府太平通一丁目　合資會社京城日報社

けふ輝く御前會議

堅固なるわが國是確立

【東京電話】東亞百年の大計を目指し今次事變終局の目的達成のため抗日政權の徹底的擊滅を期すると共に帝國不動の根本方針を確立すべき歷史的御前會議は政府側及び大本營側の數次の會合及び九日、十日の閣議の結果近衞首相よりこれを奏請御裁可を仰ぎ、いよいよ十一日午後二時より宮中東溜一之間において畏くも天皇陛下の御親臨の下に嚴かに開催された、參列者は大本營側閑院、伏見兩幕僚長宮殿下を始め奉り多田參謀次長、古賀軍令部次長、政府側近衞首相、廣田外相、杉山陸相、米内海相、末次内相、賀屋藏相及び特旨をもつて參列仰付けられる平沼樞府議長等で、十日の閣議において決定したる對支根本方針を議題として國史に炳たる一頁を飾る重大會議が開かれ我が堅固なる國是はここに確立[illegible]

厚生大臣 親任式

【東京電話】天皇陛下には十一日午前九時五十分宮中鳳凰の間に出御近衞首相侍立の上厚生大臣親任式を行はせられ、木戸文相に對して親任の勅語を賜ひ首相より左記官記を授けた

兼任厚生大臣　文部大臣正三位勳三等侯爵　木戸幸一

膠濟線は九分通り わが軍の手中に歸す

長野部隊、濰縣占領

【濟南十一日同盟】青州を拔いて破竹の勢を以て膠濟線に沿ひ東方に進擊中の長野(祐)部隊の先鋒は九日昌樂において二百の敵を擊破して同地を占領し、更に猛進十日夕刻濰縣々城を攻略、日章旗を翻へした、海軍陸戰隊の青島港攻略と相呼應して膠濟線は九分半日章旗が翩翻と飜つてゐる

青島平和占領に 米の關係方面安心

【ニューヨーク十日同盟】日本軍の青島占領が平和裡に行はれた事に對して極東に關心を持つ各方面は何れもほつと安心の態である、青島は外人が多數居住してをり日本軍の青島占領に際し不祥事件發生の危險性が極めて多かつたが今や青島は平和裡に占領したゝめ日本と歐米諸國との衝突が懸念されたがこれも見事に切り拔けた、この次は廣東攻擊か漢口攻擊かまたは和平か　一部は和平への動きが看取されるが平和よりも當分戰爭が繼續されることに間違ひあるまいといふ意向が有力だ

海軍航空隊 各地爆擊

【上海十一日同盟】海軍航空隊は昨十日左の諸地點を爆擊多大の効果を收めた

一、鈴木少佐の指揮する○○機は江西省の吉青、建昌兩飛行場を襲ひ大打擊を與へた

一、須田少佐の指揮する一隊は浙江省衢州及び江西省玉山兩飛行場を襲ひ飛行場駐屯の敵兵を殆んど擊滅した

一、岩城少佐の率ゆる○○機は山東省に現はれ諸城の敵及び自動車、ジャンク及び敗走中の敵に爆彈を浴びせた

一、更に○○の一隊は粤漢鐵路を爆破連江口驛を大破せしめた

隴海、津浦兩線 停車場を爆擊

【○○基地十一日同盟】山瀬部隊の○○機は相呼應して十日午後四時徐州を爆擊、隴海、津浦兩停車場を猛烈に爆擊、若干數輛の列車鐵道線路、驛建物などに數十發の爆彈を命中せしめこれを破壞し敵に多大の損害を與へた

香港緊急條令について 民政長官と一問一答

【香港十日同盟】南支の時局緊張に伴ひ香港の地位は更に重大性を加へることになり過日發布された香港緊急條令は各方面の注目をひき事態の緊迫を思はせるものがあるが同盟記者は十日午前十一時香港政廳に民政長官スミス氏を訪問次の如き一問一答を行ひ更に當地支那人の排日ボイコットについてもスミス氏の意見に一致した

【問】緊急條令について貴下の御意見を伺ひたい

【答】緊急條令については種々誤解されてゐるかも知れないが、これは一九二二年香港大罷業が起つたとき發令されたものでそれ以來今日までその効力を失つてをらない、ただ世人はこの事實を知らないために本條令が現在でも有効であることを思ひ起させるために今回改めてこれを告示したまでである

【問】何か特別な事件があつて本條令を公布する必要を認めたのではないか

【答】そんなことはない一辯護士の忠告によつて一九二二年發布された本條令が今日も依然有効なことを一般に告示するのが適當だと思つたからである

【問】香港居住の支那人の間に一般に排日風潮の盛なことにお聞き及びであるか

【答】新聞當局からは毎日その管轄事項の報告が來るが時々排日ビラが壁に貼られあつたとか排日文が落書きしてあつたとか報告がある、しかしその犯人を逮捕することは困難であるしさまで重視すべき問題ではないと思ふ

【問】支那人の家主が日本人の借家人に對して立退きを要求してゐる事實をお聞き及びであるか

【答】まだ報告に接してゐない、もしそんな事實が存するとすればこれは一般の問題となつてゐる住宅不足の結果だらうと思ふ　もし家主が問題を法廷に持出すとしても政廳はこれを防止することは出來ないこれは借家人の國籍の如何を問はず同樣である

廣西の女子軍 漢口に乘込む

男も顏負けの扮裝

【ニューヨーク十日同盟】A・P漢口特派員十日の報道によれば廣西の女子百五十名からなる廣西女子大隊は廣西省桂林を出發、九百六十キロの道を徒歩で行進しわづか十日漢口に到着揚子江岸のアメリカ大使館前に勢揃ひした、一行の中には最低十六歲の少女も交つてゐる、一行は太鼓を叩きラッパを吹き鳴らして旗を立て男子顏負けのいでたちで何れも小銃騎銃を携へ男子同樣五十ポンド背嚢を背負つてゐる、この女子軍は全國女子軍の中核をなすものである、支那當局は同部隊の主なる任務の一つは都部村落に入り込み國防の必要を傳へるにありとし同部隊は近く北方戰線に出動、抗日戰に一役買つて出ることになつてゐる

英首相の腹は 暫定的改組か

工部局の改組問題

【ロンドン十日同盟】イギリス政府は上海共同租界工部局改組に關する日本政府の要求を頗る重大視し政府として一歩その對策を誤る場合は上海におけるイギリスの權益に重大影響を及ぼすばかりでなく延いて全支にあるイギリス權益全般にわたつてその立場困難に陷るを極度に懸念しチエンバレン首相は、外交の智囊をすぐつて各方面の情勢を檢討し對策を考究する慎重振りを見せてゐる、しかして政府首腦部の意向としては問題の重大性に鑑みこの際日本の要求する行政の根本問題に觸れる恒久改組を否認し、過渡的方法として暫定的改組をなし表面を糊塗しさる方策とみられる

内外棉裏で 爆彈炸裂

【上海十日同盟】十日午後九時頃北四川路租界ゴルドン路の内外棉會社裏手より手榴彈樣の爆發物を投げ同時に竹垣の一部が燃燒してゐるのを發見直ちに社員の手で大事に至らず消し止めたが同日正午にはイタリー歩哨を狙つた爆彈事件等もあり當局では共同租界に犯人嚴探中

半島の狀況奏上の爲 南總督あす東上

前後約一週間の豫定

南總督は十二日から約一週間の豫定で東上　天皇陛下に拜謁を賜はり現下非常時局に於ける半島の狀況並に内鮮一體を中心とする民心の動向、これを契機とする半島施政の根本方針を委曲奏上し併せて政府とも聯絡を圖ることになつた十一日午前十時四十分本府記者團と會見して次の如く語つた

明十二日から約一週間の豫定で上京します今回の目的は天機奉伺とこの時局に就いて半島の狀況並に内鮮一體を中心とする民心の動向及び今後に處する施政方針並に政策を奏上するためである、從つてこの本目的遂行のため最少限度に滯京し用がすめばすぐに歸るはずである勿論政府にもこの機會を以つて以上述べた奏上事項について十分に連絡をとり必要事項は相談をする意向であつてその他の問題には一切觸れない

尚は總督は近藤秘書官を隨へて十二日午前十一時半京城飛行場發旅客機で東上十八日歸城の豫定である(寫眞は南總督)

内務省異動

【東京電話】玉田福岡縣總務部長の香川縣知事榮轉並に厚生省新設に伴ふ内務省の異動は十一日左の如く發令された

(警察)香川縣書記官　野村儀平
任警視廳部長(三等)補保安部長
(學務)三重縣書記官　關口勳
任東京府書記官(三等)補學務部長
(學務)岩手縣書記官　伊藤謹二
任兵庫縣書記官(三等)補學務部長
(保安)警視廳部長　松澤美雄
任長崎縣書記官(三等)補經濟部長
(學務)秋田縣書記官　伊藤久松
任埼玉縣書記官(三等)補學務部長
(長崎)地方事務官　佐藤一郎
任三重縣書記官(四等)補學務部長
(警察)島根縣書記官　友末洋治
任三重縣書記官(四等)補經濟部長
(警務)大分縣書記官　越野菊雄
任愛知縣書記官(三等)補學務部長
(神奈川)地方事務官　後藤直雄
任警視廳部長(三等)補刑事部長　大坪保雄
(圖書課長)内務書記官
任警視廳官房主事(三等)
(警保局)内務事務官　小池寛
任警視廳部長(三等)
(警保局)内務事務官　今井久
任内務事務官(三等)警保局勤務を命す
(警務課長)内務書記官兼警察講習所教授　數藤鐵臣
任内務事務官兼内務書記官(三等)大臣官房文書課長を命す
(警保局)内務事務官　大島弘夫
任内務書記官(四等)警保局圖書課長を命す
兼外務事務官　豐島彪次
任内務書記官(三等)警保局外事課長を命す
(警保局)内務事務官
命警保局保安課長
(警察)三重縣書記官　町村金吾
免兼官
内務書記官、保安課長兼内務書記官外事課長　清水重夫
任宮崎縣書記官(四等)補學務部長
(神奈川)地方事務官　上塚弘
任佐賀縣書記官(四等)補警察部長
(大阪)地方事務官　島田叡
任大分縣書記官(三等)補警察部長
(學務)兵庫縣書記官　與田久三郎
任兵庫縣書記官(三等)補總務部長
(香川)警視廳部長　服部[illegible]
任石川縣書記官(三等)補經濟部長
(學務)埼玉縣書記官　和田覺
任島根縣書記官(四等)補警察部長
地方事務官兼内務事務官　岡井三郎
任石川縣書記官(四等)補警察部長
(特高)警視廳警視　高橋康雄
任秋田縣書記官(三等)補學務部長
(學務)宮崎縣書記官　稻内消二
任岩手縣書記官(四等)補學務部長

シンガポールを中心に 英陸、海、空軍大演習

二月下旬=當初の計畫を擴大

【シンガポール十日同盟】イギリス政府は來る二月下旬シンガポール軍港を中心として陸、海、空三軍合同の下に立體的大攻防演習を擧行しシンガポール根據地始まつて以來の大規模な近代戰を展開することになつたが十日シンガポールにおいて發表された演習計畫によればイギリス政府は當初の計畫を擴大し空軍勢力を增强、凡そ百機に及ぶ空軍精鋭部隊を參加せしむることになつた

同計畫の内容によれば參加空軍部隊は印度イラクより參加豫定の三ケ中隊を五ケ中隊(第六飛行中隊、第八十四第二百三各中隊等)に增加し、その機數は爆擊機十二機爆擊輸送機八機に達する外シンガポールの飛行艇四機及びイギリス空軍三十六機航空母艦イーグル號艦載機全機など約百機に上る筈である、なほ右大演習に關してU・Pシンガポール支局は空軍大部隊の參加はシンガポール根據地をイギリス帝國領内最大の空軍根據地たらしめんとするイギリス帝國の意圖を示唆するものとして注目してゐる

三億圓增稅案

半額は新稅、間接稅で

【東京電話】臨時軍事費特別會計追加豫算の財源たるべき新稅、增稅案については、目下大藏省において立案中で休會明け議會前後には稅制調査會に附議される豫定である、大藏省では三億圓の增稅案の中その半額程度を所得稅、臨時利得稅等の直接稅により他の半額を間接稅、新稅によつて捻出せんとする目標であつて既に決定或は研究中の諸點は左の通りである

◇所得稅

一、第三種所得稅の免稅點引下げに就ては廣く國民に時局認識を徹底せしむるため輕微な引下げをなすべしといふ議論があり未だ決定してゐない

一、超過所得稅には手を觸れない方針である

一、第二種所得稅增徵については輕微に止める

◇臨時利得稅

臨時利得稅の增徵に當つては研究中である

◇營業收益稅

營業收益稅地租は大體增稅しない意向である

◇酒稅、砂糖消費稅、織物消費稅、揮發油稅、これら消費稅の中織物に對して增稅反對の意向が强い

◇取引所稅

取引所稅は多少の增稅を行ふが取引所營業稅には手を觸れない

◇物品取引稅

現行物品取引稅の稅率引下げよりも其品目の範圍擴張を主眼とし目下候補に上つてゐる物品數だけでも五六十種に達してゐる

◇新稅

一、通行稅　課稅の對象は大體五十キロ以上にして距離に應じて增徵すべく計畫してゐるが稅收入の關係で何距離を短縮するかも知れない

一、市電、市内バスに課稅する考へはない

一、住宅新築稅　免稅點を一萬圓とするか二萬圓とするかについて目下研究中

一、マッチ稅、增徵するか否かについて目下考慮中である

山東に平和の春【航空便】
(上)五色旗飜る濟南市街(下)凍つた黃河で記念撮影

本府郡守異動

(一月十日附發令)

(江原道江陵郡)本府郡守　鄭然基
任本府全羅北道參與官(四等)
本府江原道府屬兼本府專賣局屬　尹錫中
任本府郡守(七等)
江原道旌善郡在勤を命す
(原州郡)本府郡守　崔晩達
江原道江陵郡在勤を命す
(金化郡)同　李翔國
江原道原州郡在勤を命す
(橫城郡)同　李玄載
江原道金化郡在勤を命す
(旌善郡)同　黃恒根
江原道橫城郡在勤を命す
本府咸鏡南道府屬　羽野九
任本府郡守(七等)
咸鏡南道咸州郡在勤を命す
本府全羅北道參與官　李鍾殷
依願免本官(各通)
本府郡守　堀平吉

英外務次官懇談

【ロンドン十日同盟】カドガン英國外務次官は十日郭泰祺駐英支那大使、アーチボルド・クラーク・カー及びヒューゲッセン新舊駐支大使を午餐に招き極東問題につき意見交換を行つた

兩次官京城通過

中支北支の皇軍慰問並に現地視察旅行中だつた八角拓務、太田大藏兩政務次官は十一日午前十一時半天津から旅客機で京城飛行場着同機で一路歸東した

人

◇森菊五郎氏(群山米穀取引所理事長)十日入城、不知火へ
◇一松定吉氏(代議士)十一日入城、備前屋へ

天地玄黃

青島の陷落あつけなさ過ぎる位
×
待望の城大理工學部いよいよ新學期から誕生。十年前に出來てゐたら今頃大に役立つてゐたらうに。しかし今からでも遲くなし
×
川越大使引揚論高潮、常識的にも支那に留まることは意味なし。對手が奧地へ逃げ込んだんだもの
×
聯盟の制裁規定を英佛が廢棄を提案。當り前のこと
×
シンガポールで支那人抗日暴動。殺人そのまゝの支那人の見本を世界にさらけ出す行爲

本日夕刊四頁

總監を總裁に戴き 全鮮聯合青年團

今秋十月京城で結成式

本府學務局の提唱によつて各道を單位とする青年團が續々と結成され、その數は四千團體、十五萬人に達し、未結成の慶北、咸南兩道も近日中に結團式を擧行し、皇國臣民の本分を闡明し銃後半島の守りを固めることになつたが、本府ではさらに青年團の結成と共に青年の思想並に體位向上をはかる目的から來る十月頃大野政務總監を總裁に戴き、鹽原本府學務局長を團長とする朝鮮聯合青年團を結成、京城に各道青年團代表約四百名を集め、嚴かな結團式を擧行することになつた、式の當日日本精神を象徴した各道青年團旗を中心に整列した青年團代表に向ひ、南總督は非常時に直面した半島青年の覺悟と態度に關する力強い訓辭を與へることになつた、朝鮮聯合青年團結成に關し十一日學務局長より各道に通牒を發した

ととなつた

鮮内學校出身者に 就職の優先權

政務總監から通牒

城大及び鮮内專門學校卒業生の大多數は朝鮮内居住者の子弟であるため關係上朝鮮で就職の希望を有してゐるが、從來職員採用に當つては内地學校卒業生を多數採用の向もあり、昨年末就職者も増加し鮮内卒業者方面から不滿の聲も聞くないので明年度新規職員及び缺員補充等の場合には是非、これ等鮮内學校卒業者に優先權を與へるやう十日政務總監名で本府各局及び各道知事並に貿行會社、銀行等に對し通牒並に依頼狀を發した

むる方針で大野政務總監から各局長宛に依頼狀を發したが、各校の來る三月卒業生豫定數は次の通りで總計四百三十六名(内地人二百七十五名、朝鮮人百六十一名)である

▲城大七四名 法學科四一、哲學科八、史學科八、文學科一七 ▲法專六九名 ▲醫專七七名 ▲高工六二名、紡織科一四、應用化學一三、土木一七、建築九、鑛山九 ▲高農六一名、農學科三七、林學科二四 ▲高商九三名

城大や專門校 今年の卒業生 四百三十六名

城大並に各專門學校の卒業期を前にしてこれ等卒業生を成るべく鮮内に止めて總督府各局に採用せし

徵兵檢査近づく 手續きを忘れぬやう

第廿師團管内に於ける本年度在留地徵兵身體檢査は五月中旬から六月下旬に亘り平壤、龍山、大田、大邱、釜山で施行される、なほ十三年徵兵適齡者は大正六年十二月二日より同七年十二月一日生れまでで鮮内で身體檢査を受けるものは三月卅一日までに在留地を管轄する在留地徵兵事務官(警察署長)に願書を提出、更に徵兵適齡未滿現役志願手續は警察署又は龍山師團司令部に照會のこと

京織道に工業學校 新學年に開校の段取り

半島產業界殊に工業の躍進によつて技術者の拂底を告げ、昨秋以來熟練工の養成に乘出したが、本府はこれを更に緩和し將來の發展に備へんため實業學校の擴充を斷行することゝなつた、京織道では本府の政策に順應し道立工業學校を設立することゝなり目下準備を進め出來得れば本春新學期までには開校出來る様急いでゐる

この工業學校は五年制で應用化學、土木建築、鑛山冶金、電氣機械の四科で一科卅名乃至四十名とし校舍は目下選定中で實習は當分の間京城工業、京城高工に於て行ふこととなる模樣である

ことになつた

鐵道局の會議

△鐵道局では十三、四兩日所長會議を開催、十三年度の豫算に關する打合會を行ふ
△鐵道局では十三日から三日間全鮮電氣區長會議を開催、通信設施設心得の改正その他を協議する

内地から先生

"優遇するから來いさ"

本府學務局が各府縣へ案内

本府では近く教育令の大改正を行ひ半島學園の内容充實に乘り出すことになり、この結果新學期から初等教育機關が擴大され、約六百名の男子職員の不足を告げるので鹽原本府學務局長は昨年末東上の際文部省と種々打合の結果、内地各縣で朝鮮へ出向する教員を選抜し來鮮者には特に優遇すること

半島の赤誠 英文で紹介

内閣情報委員情報官太田三郎氏は、今回總督府で發行した『朝鮮同胞の赤誠』を英譯して日本外事協會發行の英文月刊雜誌『東京ガゼット』に掲載、半島銃後の赤誠を廣く世界に紹介すること

三巴自慢

各縣で朝鮮へ出向する教員を選抜に盡力することになつたが本府ではさらに朝鮮統治の國實な發展に積極的熱意を持つ若くて優良な教員の來鮮を歡迎する意味から十一日内地各縣に宛て教員採用費を

スキー ハイキング

三防―京日スロープ―洗浦

十六日ビューローの催し

日本旅行協會朝鮮支部では來る十六日山雪に覆はれた三防スキー場から京日スロープを經て壯麗なる白銀の山稜並びに洗浦に抜ける約廿キロ、四時間のスキー・ハイキングの會を催すこととなつた、コースは鐵道局發行スキーコース圖Aコースの逆行で十六日正午三防ヒュッテ發、四時ごろ洗浦に到着の豫定で鐵道局スキー部選手が指導、參加者には二シーズン以上スキーに經驗ある者、幼年者を除く男女で十五日までにハガキで三越内ビユーロー及び鐵道局營業課旅客係へ申込みのこと

なは參加者の便宜上列車は十五日午後十一時京城發、十六日午前七時三防着、歸途は洗浦發十六日午後五時四十九分、京城着同九時廿五分で會費は不要

國境を越えた愛

白系露人が皇軍慰問金

京城明治町二の六六白系露人洋服商カリム・スレマン氏(三〇)は六日結婚十年記念の感謝祝賀會を催し回教徒特別會員で國防婦人會員でもある妻女ムニラ・スレマン夫人と一緒に軍司令部を訪問、國防獻金五千圓と皇軍慰問金廿圓洋菓子等を獻納、軍司令官その他を感激させた、更に京城南大門通三の二八朝鮮イデノール・ウラル・トルコ・タタール文化協會書記ハーキン氏等は支那事變で負傷した勇士の感想の新聞記事に感激して

京城の中華商會が 商工會議所と握手

北支貿易に大進軍

半島居留二萬の中國人が、五色旗の下に新しき東洋の民として更生の日支親善に朗話を投げかけた折柄京城中華商會では朝鮮と北支の貿易に新しい發展を翹ざうと近く朝鮮商工會議所に日支經濟提携の相談をもちかけることになつた、同商會は鮮内各地にある中華商會との連絡を從來より一層緊密にとつて、更に朝鮮商工會議所と提携、半島と北支の貿易の飛躍に活動し五色旗の下に參加した眞の意義を示さうと熱心に具體的計畫を進めてゐるが、中華商會は居留中國人の世話をする一方商工業方面にも力を注ぎ、商工會議所と同じやうな機能を持つてゐるので、同商會と會議所が手を固く握れば鮮產品の北支進出は案外スムーズに行はれ、また北支特產物の輸入も容易で殊にお隣の山東との貿易の發展には大きな期待がかけられてゐる

本町四丁目在住の白系露人十九人と六日龍山陸軍病院を訪問、入院将兵を慰問して「かちどき」十八個と慰問金七十二圓を贈つた

從軍記者を 慰問

新聞協會が派遣

【東京電話】日本新聞協會の皇軍並に從軍記者慰問團一行は十一日午前九時半打揃つて宮城前に參集皇居を遙拜した後靖國神社、明治神宮に參拜し日本新聞協會總裁にあらせられる東久邇宮殿下の御殿に御機嫌伺の御挨拶を言上、第一班(上海方面)は十一日午後三時東京驛發特急富士で長崎に向ひ十三日長崎出帆の長崎丸で上海に向ふが第二班、第三班、第四班の北支那方面慰問團十名は十二日午後八時半東京驛發列車で神戸に向ひ十三日神戸出帆の長城丸で天津に向ふはずである

"皇軍戰捷"の花ひらく

皇軍の戰捷を記念する新春撥艶大會が京城三越四階のホールで十一日から十九日まで毎日午後零時半と二時半の二回宛開演される、是には府内の綺麗どころ、藝達者を選つた姐さん連その他が粧ひ凝らして唄ひぬき踊りぬいて軍國の春に艶めかしい色模樣を添へやうといふ趣向で連日花やかな番組を差し換へて御目見得するといふので斯々の人氣を呼んでゐる(寫眞は藝妓連中の「我の對面」)

行進中の軍隊に トラック驀進

兵士七名重輕傷 (東京)

【東京支社特電】十日午後二時東京市世田谷區烏山町一八八六番地先を歩兵第一聯隊の兵士が射撃場から原隊に向つて歸還行進中、後方から疾走中の貨物自動車が隊列中に突入し四名兵士は重傷、三名は輕傷を負つた、原因は世田谷區玉川町一四四上萩原鹿次郎方運轉手森谷新次郎(二〇)が前部貨物自動車を運轉中前方の自動車を追ひ越さんとして操縱を誤りこの椿事を惹起したもので同人は目下玉川警察署に留置取調べ中である

詐欺漢捕まる

京城錘路五の四五〇村仁煥(二)は十日午後二時ごろ京城苑西町二一六趙享九君「もから青葉巧みにスケート一足時價五圓位を詐取逃走中を警察署員に捕つた、餘罪取調の結果する學校へ入學させてやるからと詐欺十五圓を詐取した外數件の犯行を自白した

十二萬圓拐帶犯人

釜山の棧橋で捕はる

【釜山電話】十二萬四千圓の拐帶犯人として手配中の兵庫縣相保郡伊勢村生れ三木茂雄(二七)は特急「あかつき」で十日夜十一時釜山棧橋へ到着したところを釜山署白刑事に逮捕された、同人は大連市信田有價證券會社の社金を拐帶し新行機で京城に飛び更に十日朝京城より内地へ高飛びするところを取押へられ二百圓餘を費消してゐた

の先鞭をつけ、これに要する工費は約廿二萬圓を見積られてをり、ケーブル架工様式は純日本式無裝荷方法を採用することゝなつた、これがため從來同じ京城府内でありながら永登浦の通話は繼保の關係上市外通話の取扱ひをうけてゐたものがケーブル施設の恩恵に浴し、市内通話が可能となり此話の繼子扱ひも解消されるもので、地元民の要望により研究されてゐた狎鵡(?)通話、速時通話による分局施設は當分お預けとなるわけである

京城仁川間の『モシモシ』 迅速に便利に

永登浦も市内通話並

北支の治安工作に明朗の譜が奏でられると共に半島の心臓京城はグッと起ち上つて日、滿提携から更に一歩を進め產業、貿易の中軸となつて大陸北支への發展をもくろみ、陸路直通列車のダイア編成により半島の物資輸送を企てる一方改裝途上の仁川港に活を入れ既に天津航路の汽船を回り京仁一體となつて荷物の彈丸を送りこみ異常の活況を呈してゐるが、この京仁一體に大きな役割を振り當てられた電信、電話の通信業務は現在のところ電話二十回線で既に輻輳の頂點に達し、一通話に四、五十分を要する状態で遞信局ではこの擁みを解消させるべく愈よ十三年度豫算の京仁ケーブル架工工事に着手し、從來通話を申込んで四、五十分も要したものを僅か、二、三分でどしどし京城、仁川間の通話を捌き、多年の不便と惱みを解消し京仁一體の復線電化に呼應し京仁一體

廓を徘徊する男

何と千圓の大泥棒

十日夜京城西四軒町朝鮮人遊廓をうろつく男を本町署員が取調べると、懷中に現金一千九十四圓を持つてゐるのを發見いよいよ怪しいと睨み追及の結果、忠北槐山郡會坪面會坪里村石奎(三〇)で昨年十二月二十五日午前二時ごろ同郡、青川面青川里村鄭方に侵入し合鍵で金庫の中から盜み出したことを自白した

時代の風雲兒德王 【中】

明治大帝と成吉思汗を崇拜

赤魔驅逐に捧げたその半生

彼は父より成吉思汗の話と明治大帝の御偉業とを聞かされて成長した、かくして彼が十八歳の時、すなはち民國八年ロシアは赤色東方政策の足場として外蒙を獨立せしめ、その餘勢をかつて烏蘭察布の蒙古青年黨中央執行委員會を煽動して内蒙獨立運動を起した、その後民國十八年八月十五日すなはち滿洲事變勃發の三年前、ホロンバイルにおいてロシアの使嗾の下に内蒙獨立運動が勃發し赤魔の東進はいよいよ激化して來た、しかし當時の東北邊防司令張學良は伸拉

西部總長福の軍隊をもつてこれを鎭定した、當時は支那も赤化が恐ろしくクリスチャン・ゼネラル馮玉祥以外はソ聯に身をもかけなかつたのだが時世が變れば變るもので、この張學良が西安で賊々としてゐるうちに毛澤東、朱德らの共産軍と馴れ合ひソ聯との聯撥に躍起となるなど今昔の感が深い

話は戻つて前記呼倫貝爾騷動に次いで昭和八年にソ聯は又も執拗に内蒙古の赤化工作に乘出した、即ち阿明泰、成德を正副首領とするロシアの東方大學卒業生九名より結成された所謂「蒙古九太保」の内蒙青年黨本部を動員して内蒙に時共和國を組織せんとしたとがある、右共和國完成の曉は獨立民主共和國とし主權は勞働者とし、蒙古革命赤軍を組織して全蒙古民衆武裝を準備し、中國の統治を離脱して滿洲國、日本の帝國主義を排撃すべしといふ物凄い計畫が着々裡に進められてゐるのである

……◇……

この急進的左翼分子はソ聯の力を利用して蒙古を開發せんとしたが一方王侯を中心とする封建派は勿論これに反對であつた、當時内蒙にはソ聯の手を藉るまでもなく内蒙自治運動の芽が伸びてゐた、その直接原因は

一、漢民族の經濟的段
二、王侯待遇の惡化
三、政治鬪爭の進展

等であつて、殊に滿洲國の獨立、外蒙、新疆省の獨立等に刺戟され蒙古民族自決の空氣が動いてゐた、そして昭和八年十月廿三日に錫林郭勒、烏蘭察布、伊克昭三盟の代表が集まり内蒙自治政府を組織したのである

……◇……

しかしながら内蒙は南京政府の蒙藏委員會の監督下にあつたから、これをそのまゝ承認するはずもなく、監視を嚴重にして名ばかりの内蒙自治政府が翌年の昭和九年四月廿三日百靈廟において成立したすなはち骨抜きの自治で自治指導長官には何應欽を、自治指導副長官には趙戴文をもつてし、烏蘭長の雲王を自治政務委員長に、錫盟長索王、伊盟長沙王を副委員長とした、當時の德王はこの自治委員會の起草委員としてまだ世間には餘り知られてゐない存在であつた

……◇……

しかしながら彼の燃ゆるが如き蒙古革命の闘志は何時までも現れずには終らなかつた、機會ある每に蒙古の青年を驅き老人に說いて南京政府のため壓迫され搾取される蒙古の現狀を縷々として述べ蒙古民族自決による純粹の自治政府結成を主張してゐた、彼は常に急進派と封建派の中間に立ち、兩者をリードして行つたのである、彼が今もなほ辮髮を結んでゐるのはこれがためで、斷髮を忌む蒙古信老の風習を生かし この方面の古用を繫ぐために敢て辮髮をしてゐるのである、また一方彼は英語を解し自動車の操縱はおろか富士機、無電機等近代科學に對する一通りの知識を修得し 青年に對しその進取的な一面を示してゐたからした彼に明治大帝と成吉思汗を崇拜し、その思想的感化を受けて何時の間にか勝共自治の確固たる根本精神を勝るに至つた

十一日朝の天氣概況

高氣壓は朝鮮南部より本邦内地一帶を掩ふものゝ外、蒙古には又新に高氣壓が勢力を得て來、黃海北部及日本海は低氣壓の谷となつてゐます、北支那、滿洲は大部分快晴ですが朝鮮は中部と西鮮は曇で所々小雪、南部は晴れたり曇つたり、北支那は快晴です、内地は中部以西は大體晴、中部以北は太平洋側は所々曇の外晴、日本海側は未だ諸所雪模樣です、鮮内の氣溫は昨朝より更に昇つて平年に比べ、平壤と京仁は六度、元山、中江鎭は七八度、新義州、雄基、江陵、全州は二三度、木浦は一度孰れも高目となつてゐますが濟州と城津は二三度、釜山大邱は一度の低目です

けさ龍山の火事

全半燒五戸を出す

十一日午前九時三十分ごろ京城漢江通一六支那料理滿洲閣(日高均經營)裏口附近から發火 この字なりに建つてゐる村田守一氏雜貨商、嚴鳳鉉倉庫を全燒(トタン葺)日高均氏、北島佐六氏、野邊信太郎氏倉庫を半燒して同十時十五分鎭火したが損害總額約八千圓原因に就いては目下龍山署で取調べ中であるが、失火の模樣で火元は滿洲閣炊事場か或は嚴鳳鉉倉庫内に疊二枚を敷いて寢泊りする番人の火の不始末かと見られてゐる

產業組合書記 千三百圓橫領

黃海道瑞興產業組合書記金鎭圭(三)は昨年一月ごろから組合の出納係りを奇貨に一千三百卅一圓廿六錢を費消してゐた事實がこのほどあばかれるや早くも姿を晦まし十一日朝府内各署へ手配があつた

毒を飲んで 知人を訪問

十日午後六時ごろ京城鐘路町一丸五の五金奉完さん方へ顏見知りの全北扶安郡扶安邑内金相洛(三)が訪れたかと思ふと突如苦悶しはじめたので附近の朱醫師の手當を受けたが何處でどんな毒を飲んだのか判明せず、そのまゝ八時ごろ死亡、目下鍾路署で取調べ中

旅館で服毒

【釜山電話】十日午前七時頃釜山府本旅館に宿泊中の本籍山口縣玖珂郡秋吉村末吉敏衛(二)がクレゾール液を飲んで自殺したので釜山署では本籍地へ照會中であるが所持品によつて同人は最近まで大阪小西鋼に居住してゐたらしく病苦を悲觀して自殺したものらしい

天氣豫報 (12日)

地方	風	天氣
黃海 京畿 忠南北	西乃至北の風 溫度降る	曇り時々晴れ小雪のふる所もある
全南北	北西の風	同じ
慶南北	南乃至西の風	曇り時々晴れ雪が降る
平南北	北西乃至北の風 溫度降る	曇り時々晴れ小雪のふる所もある
咸南 江原	南西乃至北西の風 溫度降る	同じ
咸南北	西乃至北の風 溫度降る	同じ

京城地方【今晩】晴れたり曇つたり寒くなる【明日】北西の風晴寒くなる

仁川地方【今晩】北西の風晴一時曇少し寒くなる【明日】北西の風晴少し寒くなる

京城溫度(十日)最高三度五、最低零下十度四(十一日)、今朝六時零下一度七(正午)四度

今晩のラヂオ

六時童曲(城)田北節子▲六時二五分講演(東)近藤壯太郎▲七時三〇分特別講演(東)岡部久忠▲八時四〇分(天津より)▲八時俚謠(札)西崎綠陽▲八時二〇分ラヂオ小曲▲講播より南京までJOA　K文藝部

会と催し

◇第一回北關縣人會は十二日午後一時から妙心寺別院で開催

國定忠次（くにさだちゅうじ）

（164） 長谷川伸作 岩田專太郎畫

老婆（四）

「オさん、あれは長兵衛のお袋だよ」

「叱ッ」

才市はジヤガ竹の腕を引ッぱり火の見櫓の柱に添つて、隠れるでもなし隠れないでもない。

星の光りに照されて、影繪のやうに歩いてゐる長兵衛の老母は、片手に新しい卒塔婆、片手に赤包を持ち、雲を歩むやうな足どりで、しかも、速さは異常である。

老婆が近づくに随ひ、才市もジヤガ竹も、先づ、損亂した老母の短かい鬢の毛に氣がついた。次で、眼の前を通つて行く老婆の眼が、

「オさん、婆、婆さん、氣が、氣が――」

「叱ッ」

俄さ慌てて口走るジヤガ竹の聲が、火の見櫓の前を通り越した老婆の耳にはいつたのかして、立停まるより早く首だけ捻つて二人の方を見た、その顔が、鬼かと思ふばかり険しい。

老婆は口を開いて引返した、暫くして嗄れた聲で、

「だれでやす？」

一足、戻つて訊いた。二人は眼を見合せてゐる。

「だれでやすと云ふに、二人衆は？」

二足戻つて再び訊いた。

ジヤガ竹は俯向いて眼だけ老婆から逃げた、才市は火の見櫓の横木を片手で確と掴み、何かいはうとしたが思はず息を呑んだ。

づかづかと老婆が二人に近づいた。

「二人とも忠次でやすな」

「えッ。何をいふんだお婆さん」

と、才市がしどろもどろにいふ顔に、老婆は顔を近づけて、

「ええ處で會ひやした、おら、今これから行く處でやした。おら、武士まで行つて来やした、はい、あしこの裏三陸さまにおらが卒塔婆埋めてあるだし、ご先祖様もござる行つて来やした。皆さん出て来やした。長兵衛どうしたと聞くで、信州で殺されやした。これといふも忠次が悪いからでやすといふと皆さんが、われがいふ通り忠次が良くねえといやした」

氣が狂つてゐる。

「皆さんがいふに、われこれから忠次の處へ行つて、長兵衛が生れてゐるで戻つてこいといひやす、大急ぎ行つたら間に會ふだといひやすで、おら、この杖ついて駈けッて来やした。まだ間に合ひやすな」

才市は眼をぱちくりやつてゐる、鎮めるにも言葉がない。

「お前も家の長兵衛くらゐの年のある年恰好だで、内證で知らせてやるだ、耳を貸すがえゝ。あのな、男の子が大きくなつたら博徒にするでねえでやすぞ、家の長兵衛は温和い子でやしたが、忠次の悪黨に手なづけられやして博徒になりやした。忠次は悪黨でやすから油斷も隙もならねえでやす」

才市がヤッと口を開いて、

「お婆さん、そりやいけねえ。親分を悪黨呼はりしてはお前濟むめえ、いくら氣が触れたからつてそれではお前」

「さうでやすか、長兵衛が歩いて歸つてくるでやすか、今夜ね、ほら、さうでやすか」

ジヤガ竹が溜息と共に小さな聲で、

「オさん、ひでえ事になつたよ、これは」

「見ろい馬鹿。この婆さんがこんな事になつたのも、元はうぬのお喋べりからだ」

「そんな事はねえ。遲かれ早かれ氣違えになるものはなるよ」

「何をッ。うぬはまだ悪いと思へねえのか」

「思へねえよ。氣が触れたのが早かつたか遲いかだけの話ぢやねえか」

「不人情なことをよく云へた」

と、才市が拳を固めてジヤガ竹の横面を叩からうとする、と、老婆が星を仰いで、

「おらあ、忠次の奴、ヲッ殺してやる！」

躍りあがつて片手の卒塔婆で大地を叩いた、卒塔婆がぽッきり折れた。

「忠次ヲッ殺さねえではいかねえでやす。あれがゐると男の子がみんな百姓仕事厭がりやして、終ひには他國の烏に眼の玉ほじくられて小指の爪も無くなるでやすぞ」

と、踊りはじめた。

京城日報
朝刊
發行兼編輯人　小川三之介
京城日報社

續 若い人

續篇愈々五十八今ち

石坂洋次郎著

重版又重版!! 品切れのことろ大増刷出來

どこの映畫館でも「若い人」は超滿員でした。だが映畫は筋の全部ではない。「若い人」の眞の面白さは映畫の終つた所から展開される。

送料　定價一圓八十錢　上製　實費頒布

江波惠子はあの不幸な魂の妖花を胸に擁いて今ごろはどんな青春の裏徑を彷徨つてゐるのでせうか？　橋本先生の切ない矜持に激情を凍りつかせた孤獨の麗姿は今も人生の花園に脊を向けた儘なのでうか？　そして間崎は……？　完結篇の雄大なる構想は之等の人々の（同時に私たちの）人生コースの苦しくも甘美な交錯の姿に莊麗な展開と解決を與へつゝ、眼も眩む生命の亂反射の中で大團圓を絞つてゐます。

若い人（前篇）　好評嘖々!! 遂に六十一版　定價一圓八十錢　送料十四錢

東京市芝區新橋七丁目　振替東京八四〇二番　改造社

長箭郵便所長　土田銳實

外金剛郵便所長　桂敏之

新浦結核病院長箭出張所　鄭民澤醫院

高城漁業組合

高城教育會

朝鮮殖産銀行長箭支店　小山亮

東海北部線長津驛前　朝鮮運送　巨津代行店營業所　振替京城四五九五番

賀正　祈皇軍武運長久

巨津港　丸本運送業　夏目出張店

長箭港　鰮巾着網漁業　水産加工製造　中島爲一　電話一三三番　東草港罐詰工場

濟東醫院　公醫　崔圭河　電話一三番

長箭邑長　黃永尉

高城肝油製造組合　組合長　朴成彥　監査　芮奉來　原茂一　梁洪植　幹事　朴來允　都碩震

能美漁業株式會社　長箭出張所

高城郡長箭津　朝鮮漁業合資會社

高城驛前　協和製材所　電話二〇番

長箭驛前　協和製材所長箭出張所

長箭繁榮會
水産關係者一同

長箭港　鰮巾着網漁業　油肥製造業　張運善　電話一〇一番

長箭港　海産業　曾根太郎商店　電話一二一番

長箭漁業組合

高城郡邑　司法書士　小林儀助

高城鰮油肥製造組合

朝鮮東海鰮巾着網漁業水産組合
組合員一同

長箭港　鰮巾着網漁業　油肥製造業　津田慶一

長箭港　鰮巾着業　漁業　伊藤虎雄　愛宕丸

外金剛溫井里　金剛山土產品　寫眞繪葉書類卸小賣　日之出商行支店　電話一七番

溫井里　御料理　大和家　電話二四番

長箭港　船具商　內藤五郎商店　電話一〇四番

長箭港　カフエー　〇よし　電話一〇三番

長箭港　御料理　丸山亭　電話一六番

長箭港　御料理　ち久し　電話二八番

長箭港　カフエー　ユニオン　電話二〇番

長箭港　鰮油肥製造　水產業　運搬業　曾根吾郎商店　咸南新浦出張所

江原道漁業組合聯合會

高城親和會

外金剛溫井里　溫泉內湯　嶺陽館　電話一〇番

寫眞　本町一　ワタナベ

感冒・肺炎

濕布に　エキホス

EXIHOS

其他すべての炎症性、疼痛性疾患に應用すれば消炎、鎭痛、解熱の効を奏す

エキホスは主成分として純無水グリセリンを使用せる故巴布劑として優秀なる効力を發揮す。

純國產品

包裝　一〇〇匁　二五〇匁　五〇〇匁　二瓩

信用ある藥店には必ずエキホスの備品あり

謹告

近時巴布劑として市販せらるるもの時と共に增加し今は枚擧に遑なき有樣なり。而して之等類似品中には或は巴布劑として最も有効なる無水グリセリンを含有せずして安價なる他品（水飴等）を代用せるもの或は含有せるも少量にて藥効量に至らざるもの或は粘調度不良にして保溫時間短きものを見るは甚だ遺憾とする處なり
從て巴布劑御購入に際しては單に外觀並に價格にのみとらはれず巴布劑の生命たる品質及藥効に留意せらるゝ事肝要なり。

發賣元　武田長兵衞商店　塩野義商店
製造元　二巴合名會社　大阪市東區道修町

A－77⑩

●英數國漢地歷　ノーシン　愉快

江原道鰮油肥製造業　水產組合長箭支部

長箭港　咸一醫院

長箭會社國
林兼商店長箭營業所　電話四番
日本油脂長箭貯油所　電話五五番
朝鮮魚糧株式會社　長箭工場　電話一番
長箭魚糧株式會社　電話三六番
朝鮮運送長箭營業所　電話八番

長箭鰮油肥製造組合

朝鮮東海鰮巾着網漁業水產組合
組合長　佐々木準三郎
副組合長　天野郡治
理事　吉田重治
理事　吉賀時之

外金剛溫井里　溫泉內湯　萬龍閣　電話八番

東海ノ絕景海金剛水郞莊ハ漸ク其ノ眞價ヲ認メラレ客臘南總督閣下モ東海岸御巡視ノ際當莊ヘ御立寄リ遊サレ風光ヲ御觀賞絕大ノ光榮ヲ忝ウシタル次第ニ存候

永郞莊別莊經營　佐藤浩夫
朝鮮江原道高城郡邑內　電話高城四〇番・永郞莊二番
京城出張所　櫻井町二ノ三四　電本六六二三番

我不退轉の對支國是
御前會議で確定
數日中に聲明を發表

【東京電話】抗日政權を根絶して東洋永遠の平和確立を期する對支重要政策決定の歷史的御前會議は、十一日午後二時より宮中表御座所において畏くも 天皇陛下の御親臨の下に嚴かに開催、大本營側閑院、伏見兩軍令部總長宮殿下、多田參謀次長、古賀軍令部次長、政府側近衛首相、廣田外相、杉山陸相、米內海相、末次內相、賀屋藏相、特旨を以て平沼樞府議長等參列、風見書記官長、町尻陸軍、井上海軍兩軍務局長は別室に控へた、この日 陛下には陸軍樣式の御軍裝にて定刻二時諸員最敬禮裡に御親臨、まづ近衛首相より廣田外相をして閣議決定案の內容を說明せしめる旨發言し、廣田外相は右決定案に關し謹んで詳細に說明、次いで參列諸員よりそれぞれ所管事項について說明申上げ、これに對し兩幕僚長宮殿下には御贊成の御發言あそばされ、次いで平沼樞府議長も贊意を表すると同時に政府に對し激勵的意見の開陳をなし、終つて 天皇陛下には有難き御言葉を賜ひここに帝國不動の對支重要國是は確定し 陛下には天機御麗しく諸員最敬禮裡に入御あそばされ會議は一時間にして同三時終了した

【東京電話】わが不退轉の對支國是は十一日の御前會議で決定を見たので、政府はこれに基き平戰兩方面より來る諸方策を具現することとなつたが、その結果ここ數日中に帝國政府の斷乎たる決意を闡明せる重大聲明が發表される筈である

青年學校の義務制
昨日の閣議で承認を求む
十四年度から實施

【東京電話】文部省では時局重大に直面し國運の大躍進に際會してをる時、國家興隆の源泉たる青年の資質を向上せしめるためには現行青年學校教育の義務制を實施することの必要なるを認め、十一日の定例閣議において木戸文相より義務制の要旨を說明承認を求めたが、この青年學校義務制は青年女子を除き十三年度を準備期間とし、十四年度より實施するものであつてその概要は左の如くである

[illegible]

△木戸文相談 [illegible] 實施する方針を決定し、全國青年に對し洽く國家擺要の教育訓練を施すこととしたのである、[illegible] 尋常小學校卒業後高等小學校に進まざる少數のものについてはその就學を繼續せしむる必要 [illegible] 當分のうち青年學校普通科に就學する義務ありとしたいと考へる、而して國民の思想教育擴充は多年の要望であり緊要準備であると思ふが、これは一般學制に關聯し教育審議會の議を經て決定したいと考へる

陸軍步兵の全部に
二年在營制を適用!
兵役法改正案を本議會提出

【東京電話】陸軍では事變の經驗に鑑み軍部幹部補充制度の改正、及び陸軍步兵の全部に二年在營制を適用するに決定し、十一日の閣議に附議承認を得たので陸軍省より左の如く發表した

陸軍省發表=陸軍步兵の全部に二年在營制を本日の閣議において決定し、陸軍步兵の全部に二年在營制を適用することに關する兵役法改正案を本議會に提出することに決定した

改正要點=一、昭和十二年十二月一日以降入營せる步兵の在營期間は青年學校の課程を終了せると否とに拘らず、二年在營(正確に言へば一年十ヶ月二十日)となる

二、昭和十三年以降徵兵檢査を受け第一補充兵となつた者の中、青年學校の課程を終了せる者は勅令に定むる場合を除くの外教育召集を免ぜらるる事となる

三、陸軍の一年[illegible]制は將來青年學校終了者中よりも又適用せられる

濟寧を占領

【濟南十一日同盟】沼田、桑田兩部隊は午後三[illegible]十分敵復興軍の堅壘濟寧城を占領した

【濟南十一日同盟】[illegible]として必死の抵抗を續けてゐた濟寧城の敵復興軍は沼田快速部隊と協力せる沼田部隊の猛攻の前に十日午後三時十分遂に濟寧城頭高く日章旗が飜つた、第廿九師の一部及び敵復興軍の三ヶ師は西方嘉祥及び南方に敗走しつつあり、わが軍は敵復興軍の蟠居せる大運河西方地區を睥睨して濟寧正に殘餘の山東軍を吞むの槪を示してゐる

昌樂邦人家屋 掠奪破壞さる

【濟南十一日同盟】九日皇軍に占領された昌樂は事變前邦人六名居住してゐたが、その家屋は全部破壞掠奪されたことが判明した、尙同縣々長、公安局長等は南方諸城に向つて逃走した

青島占領まで

【青島十一日同盟特派員】〇〇根據地にて青島攻擊の準備を進めた第〇艦隊の精鋭は、旗艦〇〇を中心に堂々舳艫相ふくみ極めて細心に燈火を管制し、防雷裝置を施しつゝ港外の波を切り未だ夜の明けやらぬ十日午前四時頃膠州灣沖に到着した、艦內では午前三時早くも起床した將兵は今日の晴ひに備へ黒服に身を固め、防寒具の引揚げ終るや陸戰隊、掃海隊、工作隊など別々に上陸準備に取りかゝつて防寒帽外套に鐵兜を背負ひ銃を執つて整備成つた陸戰隊は甲板上に整列した、星影はうすれ浮島の山かげが紫色にくつきり浮上つて來た、午前七時十分〇〇司令より「少敵を侮らず、もし敵が無ければよく節制を守り海軍陸戰隊の名譽を發揮せよ」と訓示終るや艦上乘組員の見送り裡に敵前上陸を敢行した、時正に午前七時半、この時海の荒鷲〇〇機は爆音高らかに飛翔して上陸部隊を掩護し又青島附近の軍事施設に對し爆彈を投下した、これより先、濟南を陷れた陸軍部隊は膠濟線を南下し又一部は膠濟線に沿つて青島に迫りつつあるため退路遮斷を恐れて敵は早くも膠州方面より退却し、陸戰隊は何らの抵抗を受けずして山東頭の對岸に上陸直ちに二手に分れ一隊は山を越え一隊は海岸傳ひに青島に進軍を開始して、午後三時頃輝く軍艦旗を先頭に軍靴の音も高らかに堂々青島市內に入り、こゝに歷史的青島占領は成つたのである

我軍樂隊上海市內を行進

我陸海軍合同軍樂隊では、八日上海のガーデンブリッヂを起點に勇壯なる曲を奏しつゝ喜びに溢れる在留邦人の萬歲の聲に送られながら堂々上海市內を行進した(寫眞は我陸海軍合同軍樂隊威風堂々上海市內を行進)

閣議で決定した
各特別會計豫算
本府は五億五百十五萬餘圓

【東京電話】昭和十三年度特別會計豫算は十一日の閣議において決定したが、その內容は左の如くである(單位千圓)

▲昭和十三年度外地特別會計豫算(本數字は計數整理の結果異動を生ずることあるべし)

▲朝鮮總督府 歲入▲經常部三六〇、〇七〇▲臨時部一四五、〇八八▲合計五〇五、一五八 歲出▲經常部二八九、三六五▲臨時部二一五、七九三▲合計五〇五、一五八

▲臺灣總督府 歲入▲經常部一五一、八七三▲臨時部二三、三三七▲合計一七五、二一一 歲出▲經常部一一五、一七二▲臨時部一六〇、〇三八▲合計一七五、二一一

▲關東局 歲入▲經常部一七、五九〇▲臨時部五、四三〇▲合計二三、〇二〇 歲出▲經常部一五、四〇九▲臨時部七、六一一▲合計二三、〇二〇

▲樺太廳 歲入▲經常部三五、四六四▲臨時部二、三〇〇▲合計三七、七六五 歲出▲經常部二〇、二九八▲臨時部一七、四六六▲合計三七、七六五

▲南洋廳 歲入▲經常部八、九五七▲臨時部四四六▲合計九、四〇四 歲出▲經常部四、四二一▲臨時部四、九八三▲合計九、四〇四

▲帝國鐵道特別會計資本勘定昭和十三年度歲入歲出豫算(本計算は計數整理の結果異動を生ずることあるべし)(單位千圓)

項目	金額
建設費	三五、〇〇〇
改良費	一四五、〇九〇
自動車線設備費	二、〇〇〇
國債償還金繰入	二三、八六五
臨時軍事費財源繰入	四〇、〇〇〇
合計	二四四、九五五
右に對する財源	
公債募集金	四二、〇〇〇
鐵道益金	一六一、六〇四
資本勘定所屬雜收入	一四、五一一
前年度持越資金	二六、八四〇
合計	二四四、九五五

▲通信事業特別會計資本勘定昭和十三年度歲入歲出豫算(本計算は計數整理の結果異動を生ずることあるべし)

項目	金額
電信電話設備擴張改良及補充費	六四、五四七
日滿連絡電話施設費	一、六三〇
航空無線電信電話施設費	一、七二四
無線同報通信施設費	二三六
電信電話營繕費	八一
營繕費	三、二九五
諸支出金	二三
一般會計繰入	四一一
國債整理基金特別會計繰入	四、一九五
臨時軍事費財源繰入	一六、〇〇〇
豫備金	六二〇
合計	九二、七五三
右に對する財源	
公債金	一八、五〇〇
業務勘定過剩金繰入	四四、六〇五
事業設備補充費繰入	三、二二〇
電話設備負擔金	一三、一八〇
雜收入	五七四
前年度持越資金	一二、七七一
合計	九二、七五三

柳州上空に於て
壯烈な空中戰
敵の二機を擊墜す

【上海十一日同盟】海軍航空部隊三木部隊の〇〇機は十日午後三時三十分廣西省柳州の上空に於いて敵機三機と遭遇壯烈なる空中戰を演じ、二機を完全に擊墜し殘る一機は辛うじて我が追擊を免れ柳州北方に逃げ去つた

海寧を爆擊

【〇〇基地十一日同盟】中原部隊の〇〇機は十日午前海寧を爆擊、此處に據つて抵抗する敵に對し多大の損害を與へた

全米國勞働團體で 支那人救濟委員會

【ワシントン十日同盟】アメリカ勞働總同盟副會長マシユウ・ウオル氏は『支那人民の勇敢さと辛抱強さを多とするため』と稱してウオル氏自身會長となつて全米勞働團體を中心に新たに支那人民救濟委員會を組織する旨十日發表した

支那軍隊に依る
青島の被害狀況

【青島十一日本社特電】我が艦隊は十日青島港を占據し陸戰隊により完全に治安を維持しつゝあるが、目下判明せる支那軍隊による同地の被害狀況は左の如し▲貿易關係は殆ど全滅▲四方鐵道所內部は破壞▲青島糸廠及び附近の工場は大部分燒失▲新町附近の邦人家屋は外形は存するも屋內は大半掠奪▲電話は市內は完全なるも四方、滄口は不通▲日本電信局各裝置は大部分荒廢に歸してゐる、總領事館、各學校、病院、銀行、會社、集會所は外形無事

緊急布告

【青島十一日同盟】十日入港した〇〇司令官は治安確保のため全市に對し左の如き安民に關する緊急布告を發した

一、一般民衆は日本軍の正義に信頼し安んじて業に就け
一、日本軍の布告と命令を嚴守すべし
一、日本軍の治安維持に關し誠意をもつて協力し、以て不逞分子あらば至急報告すべし
一、日本軍の行動と居住に關し極力便宜を與へよ
一、放火掠奪を犯すものは嚴罰に處すべし
一、他人の武器及爆發物の隱匿を密告したるものは相當の賞金を與ふ
一、當分の間午後七時から午前七時まで通行を禁止す

汕頭潮陽一帶
民衆武裝を整ふ

【上海十一日同盟】汕頭潮陽一帶を中心とする南支沿岸支那側抗戰準備は第百五十五師李漢魂指揮の下に壯丁隊、遊擊隊、少年自衞隊等を編成し着々民衆の武裝を整へつゝあり、李漢魂は自ら各地方を巡視して抗戰準備を督勵すると共にラヂオ、陸軍機をもつて民衆の指導宣傳に大童となつてゐる、尙三海豐縣ではジャンクの出入に嚴戒を加へ許可證なくしては出入を禁じてゐる

漢口を空襲
飛行場を猛爆擊
全機無事に歸る

【上海十一日同盟】海軍航空部隊は十一日午後一時半颯爽を衝いて長驅漢口を突き、漢口飛行場に猛烈なる爆擊を行ひ、飛行場、兵舍、格納庫その他重要軍事施設に巨彈を浴びせて敵大本營の上空を完全に制壓し、全機無事歸還つた

厚生省
愈よ店開き

【東京電話】厚生省は十一日官制公布と同時に初代厚生大臣木戸侯の親任式が行はれ、同時に勅任級以下首腦部全員の人事が發令されこゝに名實共に完備し、新大臣以下內政改革の具體化として國民生活安定を目標に新設厚生省の店開きが行はれた

厚生省人事發令

【東京電話】新設厚生省は十一日官制公布と共に店開きすることとなり木戸初代大臣の親任式終了後廣瀨次官以下各局長その他職員は既報の通り發令された

營林署長會議

營林署長會議は來る二月廿一日から五日間本府第二會議室において開催される、その諮問事項は
一、現下における木材供給並に將來林力の補強に對する具體的意見

遞信辭令(十一日付)

西大門局長 小澤武 保險監理課勤務を命ず
鎭南浦局長 稻葉彥藏 西大門郵便局長を命ず
航空課勤務 只松錄雄 鎭南浦郵便局長を命ず

人

◇玉名友彥氏(京城地方法院檢事正)新任挨拶のため十一日來訪
◇內石萬平氏(木浦米穀取引所理事長)十一日朝入城本町ホテル

京城の裏表

京城の裏表顔を承はる春田登京城驛長は明けて四十九歲の脂の乘りきつた貫祿▲鐵路生活廿年勤續京城驛長の大役を見事捌いて昨年は京城驛開設以來初めて運輸無事故の表彰を受けた▲雨が降らうが槍が降らうが汽車が動かぬ日がないため驛長も休暇がない▲僅かに子供相手に將棋をやつてポンポンと騎たれて參つたと負けるのが樂しみ▲その相手の長男が龍治君▲次男は戰一君で名前が鐵路に因んでゐるところ春田さんはあくまで鐵道人だ【寫眞は春田さん】

社說

偉大なる國力

事變特別會計追加豫算の財源として、大藏省では近く增稅三億案を議會に提出する事となつた。之と前後して四、五十億の巨額に上る事變追加豫算が、計上されるのではないかとされてゐる。曩に議會の協贊を經た事變追加豫算は、合計二十五億九千二百萬圓であつて、中一億を增稅で賄ひ、殘額二十四億九千二百萬圓は公債によるのであるが、十二年末まで發行された額は八億圓に過ぎず、また十六億餘を殘してゐるのである。十二年中に於ける公債の發行が右の數字で了つたのは、軍需品のストックが多く使用された關係もあつて、軍費の支拂は今後加速度となるのである。從つて蔣介石が第三國を恃んで長期抗戰の狂舞を續ける以上、次に來るべき如何なる情勢にでも即應し得る爲め、長期戰の爲めの事變費は追加されねばならぬのである。四十億乃至五十億の追加豫算が提出されるのは、當然豫定されのたるものであつて國民も亦當然來るべきものとして之が負擔を覺悟すべきである。

事變費の膨脹も又止むを得ないのであるが、日本の國力は大體に於てどの程度までの戰費負擔が可能であらうか。歐洲大戰の例によつてみると英、佛、獨、伊、露各國とも四箇年間に國富の四割四分又國民所得に對し一箇年平均八割六分九厘、國民貯蓄の一箇年平均五倍半に戰費として使用し、國民も亦之に充分堪へ得て來た。

然らば日本の國富は如何なるものか、之を歐洲大戰の例により軍事費としを賄ひ得る數字は如何なるものか。昭和十一年に日本の國富は一千二百億であるから、之が四割四分、四箇年では五百廿六億、一年百三十二億、又國民所得は一年百四十億であるから、この八割六分九厘は一年百二十一億六千萬圓 更らに國民貯蓄は一箇年二十一億、この五倍半は百十五億五千萬圓である。以上の數字から檢討するに昭和十一年より、更らに飛躍充實してゐる日本の經濟力は最小限度を以てしても百二、三十億は樂に負擔出來るのである、過去十年間に於ける日本の經濟力が如何に飛躍的なものであつたかを顧して餘りある。

一方赤字公債消化の問題が取上げられるが、戰時體制下にあつては之は問題とするに足らぬ。日銀の資金操作によつて巧妙に廻轉されて行くものである事を確信してよい。歐洲大戰にあれ程の大軍を動かし、最も巨額の軍費を消耗した英國の國內國債は國民所得に對して平均一年六五、八に當つてゐるが、それでさへ惡性インフレを誘致する事なく切拔けて來てゐる日本は今假りに事變費を四十億追加するとしても、增稅分を差引けば六十億であるから 國民所得に對して四二、八に過ぎない。斯くの如く日本の國力は充實の一途にあり、生成躍動してゐるのであつて、軍費百億供るゝに足らずとの言は右の如き根據から云ひ得るのである。然しこの重大時局に際し樂觀強靱は禁物である。この國力に日本人のみの持つ精神力が加はつてこそ大東亞經濟を確立する事が出來るから、國力を確信して銃後奉公の赤誠を致すべきである。

動く東亞の新情勢

日本の轉換と我等の覺悟

【十二】　松田生

[illegible]

……政治も、經濟も、軍……この機關が日支事變……して廻りつゝあるや……本內部の諸改革は徹……動員運動をその土臺……せねばならぬ、こ……精神總動員運動を戰時……たゞ一時的の運動と……らばそれは大間違ひ……この運動こそ新日……時に築き上げる一大……東洋平和を永遠に築……私共の子供の時代……時代まで續くかも……ことを覺悟して新日……を期せねばならぬ……半島の使命を遂行せ……希ふてやまぬ

（完）

時局座談會

【5】

わが皇道の偉大

支那をも同化し得

出席者（いろは順）

民政黨顧問　富田幸次郎氏
前朝鮮局長官　吉田茂氏
陸軍中將　建川美次氏
　　　　　十河信二氏
法學博士　下村宏氏
【本社側】御手洗副社長及び東京支局記者
―十一月卅日・東京築地にて―

建川　全然その說に贊成だ。一體日本は東亞の安定的勢力だといひ、これからそれにならうとするのだともいひ勝ちであるが、私はまだ安定的勢力になつてをらんと思ふ。安定的勢力になるためには英米の東洋に對する容喙を排くするやうにしなければならんのだ。私は從來滿外に長く居つた經驗から被征服他民族を本當に心服させることは不可能だと考へてゐたところが、それは誤つてゐたといふことを感じて來た。これは出來るんだ、歐米人には出來なかつたからと言つて日本に出來ないことはないと思ふ。最近の朝鮮の話を聞くと、本當に腹から內地人と一緒になつても進む態度になつたと聞くが、これは世界併合史に類のないことである。これは日本人の異常な功績だ。これが滿洲北支に出來ぬとどうして言へる、今度支那が日本と一緒になるやうになれば、滿洲はさうなる、支那から外國勢力が退却すれば、支那がさうなる、これが眞の皇道宣布になるし、これは相當年月のうちに實現し得るものとこの頃考へるやうになつた

吉田　私も出來ると思ひますね。

富田　滿洲でも內輪の騷ぎは隨分ひどかつたし……。

建川　朝鮮にも萬歲事件があつた。

富田　けれども、それは力の問題だ。

建川　さうぢやない。

富田　實際は力でやらなければならぬのだ。

建川　力がなければ皇道宣布も行ひ得ぬは固よりなれど……。

富田　力を示さなければいけないのだ、日本が北支に發展するのは、ムツソリーニが言つてゐることが正直である。

こちらも伸び　向ふも伸ぶ

吉田　伸びるのは運命だが、その伸び方はイギリスの今までの伸び方と同じでいゝかといふと、さうぢやない。こつちも伸びるが向ふも伸びなければならぬ。だから今までのイギリスが伸びたやうな切取强盜の眞似をしたらほんとうの發展は期し得られない。

富田　伸びなかつたら滅びたら宜いぢやないか。どうせ食ふことも出來なければ滅びるより仕樣がないぢやないか。

吉田　伸びるのは宜いが、その伸びて行く心持が大切だといふのです。

富田　名義などの問題ぢやない。

吉田　これは本當に大事なところで、今後北支にどういふ形で發展するかといふことは現代日本によつて解決せられねばならぬほんとうの創作ですからね。

建川　たゞやればいゝといふのではいかん。

吉田　そんなことでは永久に伸びて行くといふわけには行くまい。

昭和十三年の日本

種子更新會議延期

水稻優良品種々子更新事業擔任者打合會は來る十八日から三日間開催の豫定であつたが、都合により廿、廿一兩日開催されることに變更された

夕刊後の市況

◇―大阪短期引所氣配

銘柄	値	前比
大新	九八、〇〇	一〇高
東新	一七一、三〇	不變
鐘紡	二七九、五〇	四〇高
滿重	八六、七〇	不變

◇―橫濱生糸保證引　當　七〇〇〇　先　[illegible]

◇―福井人絹保證引　當　[illegible]　先　[illegible]

仁川期米本玉　[illegible]

肥料配給統制の官民懇談會取止

十五日迄に中央組合結成

肥料の中央配給統制組合結成に關する官民懇談會は十一日開催の豫定であつたが、事前關係業者が個々に當局を訪問、意見交換を行つた結果、完全に諒解が出來たので正式會合は取止め、來る十五日肥料配給統制令が施行されるので、それまでに設會の手續きを採ることゝなつた

而して中央組合は組合員も僅か六名に過ぎず、大體自治的統制を主眼としてゐるので會則なども省略し、會長、常任役員も置かず、當番幹事制で萬事自治的に事を運んで行く方針である、地方組合は組合數が一道一個宛となり數も多くなるので、總督府から準則を示しそれに基いて適當に會則を定めしめる意向で總督府では十五日付統制法施行に關聯し各道宛通牒を發する豫定であるから右通牒中に準則、地方組合運用方針等をも明示する筈である

三陟と平南鐵

資材制限で、私鐵の工事進行難を[illegible]されてゐるが、十三年度に要する鋼材約五萬噸（專用線を含む）に對する入手はその査定に於てどの程度迄の供給が許されるか全く不明とされてゐる一面平北鐵道の定期線並に三陟鐵道だけは國策的見地より最も緊急を要するものと見做され、國有鐵道と同じく鋼材使用を認められ優先的に入手出來る事となり、工事は何等支障なく順調に進行せしむることゝなつた

水稻種子更新不徹底

全北平南北が特に惡い

水稻作は種子更新不徹底の地方が多く、平南北地方では一時咸北、咸南の同一品種より上値であつた陸羽一三二が、今では內地の同一品種より遙かに下値で取引せられるの有樣であるが、同じ銀坊主が全北と全南で六、七十錢値開きを生じてゐるのも、全北の種子更新が粗漏であるが爲めと見られて居る、尤も此外に同じ銀坊主が全南と全北で四、五十錢乃至六、七十錢の値開きを生じるのは全北が金肥を濫用し、しかも有機質の堆肥等の施用を怠るのも有力原因である、全北平野は堆肥の給源に乏しいながら、全南と同樣の稻作は困難であるとしても今の全北は餘りに極端に金肥を施用して稻熱病の發生、或は上記の米質低下を招いて居るの嫌ひがある

朝運の宅扱貨物を非指定業者に開放

運送の一元的統制成る

鐵道宅扱貨物の取扱ひに關し非指定運送業者は死活問題なりとして鐵道局並に朝運との間に折衝を重ねつゝあつた一月七日左の條件の下に圓滿解決した

一、朝鮮運送株式會社が朝鮮總督府鐵道局より請負したる宅扱貨物配達作業を非指定業者に開放す
一、非指定業者中右取扱を受くる店所は丸計の責任を於て推薦したる店所に限る
一、右責任を保證する爲め金二萬圓を朝鮮運送會社に積立てるものとす
一、各地責任付混載專用車も丸計責任の下に於て非指定業者に利用せしむ
一、兩社計算部は協調して新店の防止不良店整理の徹底を期し業界改善を圖るものとす

官民一致協力以つて更新の努力切望

【下】　農林局長　湯村辰二郎

此等根本的解決は將來米穀事情其の他の狀勢の變化に應じ事業の再興期に屬せしむべきも、仍農村振興上放任し難き當面の施設に付ては引續き既定の方針に基き之が進展を期すべきは論を俟たざる所である、現に實施しつゝある既成土地改良施行地區に於ける收穫量の確保上缺くべからざる耕地整理の施行、累年旱魃の災厄を免れ得ざる水利不完全畓の旱害防除を目的とする大規模土地改良事業（二百町步未滿）耕地の不足を緩和する爲行ふ小規模の干拓事業（百町步未滿）施設は即ち之である、之を要するに朝鮮の土地改良事業は仍當分の間消極的範圍を出でずと雖其の前途は實に洋々たるものがあり今より之に對應する用意と工夫とを凝して之に善處するの切要なるを痛感せらるゝところである

始　政當時『滿目荒涼一靑なし』と稱せられた朝鮮の林野も四半世紀に亘る官民總督の努力に依つて漸々綠化の端を萎し、往時を知る者をして一驚せしむるに至つたことは洵に同慶に堪へない次第であるが、右は漸く其の基礎を作りたるに過ぎず治山工作の前途は尙遼遠なるものがあるを以て、前年に於ては林政上の癌である民有火田の整理に一步を進め又砂防事業の擴充、國土利用上の羅鍼たるべき民有林野利用區分調査或は用材國策に備ふべく國有林造林事業の擴充、朝鮮林業開發株式會社の設立等重要事項の實施に着手せるが更に本年に於ては民有林に於る用材林造成、火田整理及農用林地施設の擴充、林業職能組織の强化或は林產副業獎勵の擴充等に付考究の豫定にして半島の林政は愈々多端ならんとして居るのである、此の時勢に際會し官民一致協力以て治山の大業を完成したきものである

砂　防事業に付ては現總督の重大政策として治山治水の根本方針が確立せられ、之に基き昭和十二年度以降十五箇年間に全鮮に亘る二十三萬町步の禿裸林野に對し總經費七千六百六十餘萬圓を投じて砂防事業を實施する事となり初年度は六百餘萬圓の經費を以て約一萬七千町步の事業を着々實行中であり、本年は其の第二年目を迎へた譯である、砂防工事に依り禿山に鬱蒼たる森林を造成して流砂を防止する事が治水の根本策であり、延ひて各種產業及交通發達の基幹となる事は今更喋々するの要を認めない所で本事業の重要性は既に各方面に十分認識せられ時局多端の折柄にも拘らず本事業に對しては繰延削減等を行はず豫定通り繼續實施せらるゝもので、之が完成の曉には朝鮮の荒廢林野の面目を一新し從て洪水被害を激減し交通の保全、產業の發達等に期して俟つべきものがあるを確信するものである

北　鮮地方の開拓に付ては昭和[illegible]年以降十五箇年計畫を以て着手せられ本年其の第六年次の事業實行中であるが、其の間滿洲國の獨立に依り一層此事業の重要性を加へられ開發の先驅たる鐵道、道路等着々進展し夫々各種產業の興隆に寄與する所大なるものがある由來北鮮開拓事業計畫に於ては邊陬の地として放置せられた北鮮奧地に對し道路鐵道の敷設等交通運輸機關を整備し運利の開發を促進すると共に、特に同地方に於ける產業經濟の重點を成す營林事業の進展を期する爲國有林の利用開發と保護增殖の途を講じ、一方之等一帶の地に浮動跋扈する火田民に付ては其の善導定着を圖り安住樂土たる山村を建設すると共に、林野內に存在する幾多の農耕適地等は廣く之を一般に開放處分し、殖民興業の實を擧げんとするにあつて、且之れ等廣大肥沃なる未墾の農耕適地は亞麻甜菜及忽布等の工藝作物の栽培に適し既に其の一部は企業化するに至り更に小麥の如きも北米產に劣らざる優良品種の栽培普及を見つつあり、一方畜產に就ても豐富なる飼料野草を具有する關係上牧畜は勿論國防上緊切なる緬羊の如きも北羊計畫の具現に依り着々增殖せられつつありて、將來之れ等は工業化せられ本地方產業の樞軸となる運命に在るのである

惟　ふに本計畫は朝鮮に於ける經濟經營の劃期的施設たるのみでなく、接壤する滿洲國と日滿經濟一如の關係に於て更に其重要性を加へ實に日滿經濟提携の前衛たるの使命を有し且つ現下非常時局に際し生業報國を如實に顯現するものと云ふべく事業の前途甚だ囑望すべきものがあつて事業開始以來日尙淺き今日着々成果を擧しつつあるに鑑み、更に今後一層施策の十全なる遂行を圖り、其の有終なる成果を收むるに努めんとするものである以上の外所管事務に付ては將來幾多施設の進步改善を計るの要あるは勿論にして、一日として晏如たるを許さざるものと信じ非常時局に適應し以て半島同胞の生活安定、福利增進、精神の作興を目標として層一層官民一致協力、以つて更新の努力を致さんことを切望して已まざる所である

米倉在庫高

米倉への貨物入庫狀況は舊臘以來漸增してゐるが一兩日前の在庫高は遂に五百萬個を突破し同社創立以來の新記錄をつくつた、右のうち米穀は百十萬個弱で、豐作による米穀の海港地殺到が激增したことが主因で其他の雜貨も近來急增してゐる、なほ鎭南浦港の滯船による船舶の出入中止によつて同港の滯貨は著しく、米倉支店への入庫は百萬個に達してゐる

無水酒精工場

本府では十日午後一時から商工獎勵館で酒精工場新設に關する懇談會を開催したが、その結果甘藷を原料とする無水酒精工場を生產能力二萬石濟州島に朝鮮酒精聯盟共同出資の株式會社組織を以て新設するに決定した、工場建設の細目に關しては近く專門小委員會を開催して協議することになつた

同は朝鮮機械製作聯盟では本月廿日頃打合會を開き右引受の諾否を決定することゝなつた、右工場用水に對しては中央試驗所で調査を行ふ筈

家庭

お髪の飾りに また羽根時代 流行は還元する

◆銀座通りでモダニズムの最尖端を行く職人達の間で、頭に羽根の飾りが多く見受けられるやうになつて参りました、古典趣味の復活があらゆる装飾品に進出して来てゐる此の頃ですが、一昔前は頭の飾りとして羽根は随分流行したものです

◆流行還元すると申しますが最近の動きを眺めてゐますと成程と肯けるものが沢山あります、造花は今でも硬い感じと可憐の味で仲々盛に使はれてゐますが 夜会観劇などの華やかな所には物足りない感がないでもありません、其點羽根は清純な輝きを失はず、豪華な感じに於て断然羽根飾りが流行界をリードするでせう とは美容界の擢

山野千枝子さんのお話ですが羽根を使ふ場合には髪の型も相当考慮されなければなりません此のお髪は前髪を眞中から分け右半分ロールカール耳から半分

後へリングレットを並べて髪花を出し、左の前半リングレット耳のあたりから日本の七三式にお髪をねかせて後をリングレットでまとめ髷の感じを現はしてゐます

◆アクセントは周圍ばかりに集めて中央にはわざと技巧を加へない所に、背髪を跳つて、しかも羽根の飾りとマッチしてゐます 盛装の場合にふさはしいお嬢様方のお髪、又は花嫁様のお髪としても、この上なしです

美容室

紐の工夫ひとつで 着崩れせぬ着付 まづ肝腎な下ごしらへ

お正月と晴着の外出

お正月に限らず、外出時の着付も二枚襲ねなどになりますと着くづれがして素人ではなかなかむづかしいやうに思はれますが、ちよつとしたコツ一つで誰方にでも上手に着付けが出来ます

先づ肝腎なのは下ごしらへです洋装でもコルセットがなかつたらまるで形が調はないやうに、和装も眞先に身體の線をとゝのへることで、殊に肥つた方はこれを忘れては、美しい着付が出来ません

それには、ガーゼを一丈ほど長いまゝきつちり胸に巻きます、下にはあまり厚ぼつたいメリヤスのシャツや、毛糸ものなどは着ないやうにして、お寒いやうなら眞綿を背中に背負ふぐらゐに致します、肌襦袢は晒木綿は線が固くなり、衿元も厚くなりますから、ガーゼが宜しうございます

長襦袢 次には長襦袢ですが、襟は三河木綿で腰巾につくり、半襟でくるんでとぢつけます、お召しになる前には半紙を縦に五つ折りにすると丁度襟巾になりますから、全部下まで半紙を入れてとぢつけます

紐は胸でしめただけでは崩れますから、後へ十文字になるやうに二巻きして、一本の紐で乳の上へもかけてしめておきます、これはすつかり着付けが終つてからはゆるんでも差支へないのです

ふとつた方はこれだけで伊達巻は使はぬはうがよろしうございます

着物 二枚襲ねの襟が合つてゐないのはみぐるしいものです、上着と下着とを、背中と襟先、おはしよりの少し下を綴ひつけておくと、下着が出て来ません、襟に下着をすこし出し加減にとぢつけ、上着にも下着の襟にも半紙を畳んで入れておくとしつかりいたします

準備が出来ましたら着付けです 晴着の長さは足袋がかくれる程度がよろしく、襟先を上りぎみにしつかり合せて腰紐をしめます、既に下前は深く合せて、身幅がひろければ立褄をも心もち折り返して腰紐をしめると着くづれいたしません、腰紐がきまつたら

伊達巻 ですが、二枚かさねでおはしよりが嵩張りますから、下前のおはしよりは、上へあげ乳の下でもう一本紐をしめ、その上から伊達巻を巻きおろして、下着のおはしよりをすつかりその下へ入れて結びます、伊達巻は上から下へと巻いた方がよく、後で一度折るとずれません

帯 お太鼓がブカブカと落ちて来るのは、お太鼓の下へ入れるたるみが少いからであります

模様の加減でたるみが少くなる時には、手を短くしてでもたるみを沢山つくり、その上へ背負ひ上げをのせればしつかりと安定してくづれません、晴着の場合は帯は普段よりも上にして、背負ひ上げの出し方も派手にした方が引立ちます、普段は中へ入れてしまつてゐた方も前にすこしはのぞかせます、背負ひ上げは奥様は結ぶと、お嬢様は前で交叉させてはさんでおきます

足袋 はやはり晴着にはキャラコよりも絹キャラコの方が艶があつて引立ちます、キャラコならば一度水を通して糊気を抜き、アイロンをかけますと足にぴつたりと合つて形が美しくなります

物のはじまり

謡(うたひ)

支那の謡歌に真似たもので風流人たる足利義政の考案であらうといふ、謡曲は豊臣・徳川時代には武士の遊興の一つであつた、今曲目三百五十二番ある、謡曲に鼓笛を合せ、扇をひらめかして、典雅な舞踊をつけたものが能楽、即ち能である『源氏物語』には『さるがう』『枕草紙』には『さるがひ』『源平盛衰記』には『猿樂』とある

小笠原禮法

俗に、小笠原流と稱へて、武家の出身者の標準禮法とされる、後醍醐天皇時代、甲斐源氏、小笠原信濃守貞宗は弓馬の術に長じてゐた殊に故實に通じてゐたので詔に依り諸皇子の御師範役を仰せ附かつた、貞宗の玄孫兵庫守長秀が武家禮法に改訂を試みた、これ小笠原禮法の起りである

ご婦人好きの 高砂志るこ

お正月は御婦人の来客も多く、お汁粉など作ることが多うございますが、風變りな白色のお汁粉など、いかにも食慾をそゝります

材料＝(五人前) 白隠元豆三合五勺、砂糖百二十匁、もろこし粉二合、白玉粉一合、片栗粉大匙一杯

拵方＝隠元豆をやはらかに煮つぶし、味噌漉へ豆をあけて水氣を切つて擂鉢ですりつぶし、裏漉の中に入れ、磨き桶に大きい布巾を敷き、線を桶の外に折返し、その上で裏漉へ何度も水を注いで漉し、布巾の縁を一緒にまとめてしぼる、水氣がなくなり、餡がさらして来ます、この漉餡ができましたら砂糖と片栗粉をまぜ、水を二合五勺ほど加へて煮立たせ、もろこし粉と白玉粉をこね合せて小さくまるめて茹で、水に入れて外側の粘り氣を去つて掬ひ上げ汁の中へ入れてちよつと煮立たせ椀に盛りわけます

歯磨粉には 鹽を混ぜて 使ひませう

昔の人は歯を磨くにも鹽ばかり使つたものです、近頃は歯磨粉といふ便利なものが出来て、鹽を歯などつかふ人はなくなりましたが歯磨粉に鹽を半分まぜて使つてごらんなさい とても經濟で、歯のためにも宜しうございます、しめつた鹽など利用すれば、粉もとばず一擧兩得です

やけどによい 濃い鹽水濕布 火氣に子供は注意

冬はどうしても火に接近する機會が多く従つて火鉢、鐵びん、湯たんぽなど火傷の原因となる器物の取扱ひや置場所に十分注意しないと、大事を惹起することになります殊に注意を火に向けてゐるばかりにかへつて子供への注意が閑却され一寸した不注意のため、火傷の事故を起すことが非常に多い。

×

火傷して一番困る問題は、かなり長い時間つゞく烈しい痛みを如何にして止めればよいかと言ふことですが、この鎮痛の目的には手近な方法として、食鹽水のなるべく濃いもので濕布がよろしいでせう。マッチや熱い鐵釜などですこしやけどしてヒリヒリ痛む程度の軽い火傷でしたら、この方法だけで必ず治せます

次に水ぶくれの出来た火傷の場合は三四日の間は少なくとも我慢して、水疱を無理に破かないやうにすることで、水疱を氣にして、うつかり破ると、化膿する恐れがあり、また痛みもひどくなつて、却つて苦るしむやうなことになります。

更に又睡眠中など湯たんぽに長時間ふれて火傷したやうなときには、悪性の治りにくい火傷を起してきます。皮膚面はくさつて後に瘢痕を残します。

×

この湯たんぽによる膝頭から下の脚に圓形の瘢痕の生ずる火傷は容易に治りにくい、醫者にかゝつてなるべく歩かぬやうにして 患部を高臥にし、そして水疱を必ず破かぬやうに呉々も注意しなければなりません。

×

可成り度の進んだ火傷は、實際治りにくいまた苦痛が甚だしいため、醤油、味噌、油類などの塗布をはじめ、その他さまざまの民間療法が行はれてゐるわけである。とに角、やけどした場合の應急手當は前述の如くですが、火傷しないための萬全の注意がいちばん大切なことであるのはいふまでもありません(百瀬博士談)

寒さ時 女性の敵 『冷え』の問題 殊に職業婦人に

先づ第一に働きにくいし恰好が悪いと云ふので若い職業婦人達に多くの薄着をみますが、女性にとつて『冷え』程恐いものはないと思つても過言ではない程、それが原因でいろいろの病氣を起してしまうものなのですから注意を怠らないやうにしなければなりません

×

厚地のものを數少く着るより、薄物を幾枚も重ねた方が、温かくもあり、洗濯も便利ですし、衛生的にも結構です、それからお腰よりもパンツの方が温かいのはいふまでもなく、お腰を幾枚着ても無駄に終ります

それに室内が温められてゐましても、コルクとか、木床はいゝのですが、セメント等は足の冷になる處だけでも毛布を敷くとか、靴の底、或は靴下の底に眞綿を入れるなりする必要があります、と同時にコートなどは脱ぎ、薄着になつて事務をしないと、外出にコートを着る理由がなくなつてしまひ、急激な寒さにコタへるのです

×

私達の摂る食物である穀物野菜等は含水炭素の中にブドウ糖が出来體内でエネルギーを作ると共に脂肪分の多くなることは寒さに抵抗力を作ります、ところがこゝに季節の果物の柿は『冷え』るものですからお控へになります様——

×

殊更に職もつ婦人のやがては家庭の人とならねばならないのです、明日の爲に私達は健全を希ふのです、これを時節柄に云つて、この健全な身體を以て第二の國民をつくることが銃後の女性の忘れてはならない務め——と言ふことになります

入院随意 紙上病院

子供の首にコブ

十二歳の子、昨年三月より左の頸部が自然にふうとふくれてゐたが六月からは右に又同じく出来たので色々と灸の治療もし治らぬので六月から某病院で(レントゲン)治療してゐますが成績がどうもはつきりしません、それで徹底に治す方法を知らせて下さい

【答】三浦病院醫博 三浦義雄氏

恐らくルキレキでせうがレントゲンの治療でも治らない様な場合には根治療法としては手術により摘出するより致し方ありません、摘出した後は再び出ない様に防ぐために全身の營養を高め尚豫防的にレントゲン治療を少し行へば良いと存じます

腫ものがとれない

小生幼なき時より頭ふにはれものはげありますが、とりたいと考へます、ミクロゲなる薬など如何でせう、よき擧あれば御教示下さい

【答】三浦病院醫博 三浦義雄氏

幼時の時に出来た腫物の跡のハゲが今日まで長い間の年數を經過しても毛が生えない様であれば先づ見込み無いと見るべきでせう、如斯様な場合には薬でも亦効ありません、然し一度は醫師の指導を仰ぐ爲に診て貰つた方が良いでせう

扁桃腺の手術

七年前左右の扁桃腺を某病院にて摘出手術致したるも、その後毎年の如く時々扁桃腺がはれて困却致し居り候處、某病院にて相談致したる結果、再摘出手術をなすやうとの事にて候、然し再度の手術は初回の手術より困難にして、出血に依る危險も更に大なる由にて候、非實再手術は困難にして危險にて候や又入院治療日數等御教示被下度候

【答】醫博 上田耳鼻科 上田隼人氏

扁桃腺の手術的除去方法として切除と摘出の二法がある。前者は子供などの場合に好んで行はれ、後者は主に成人の際に摘出を必要とする適應の者に之を施行するのを原則とする。摘出後の再發は摘出術の完全ならざりし場合或は又完全に行はれたりと考へる場合にも時に周圍の遺残扁桃腺組織の再生により之を認めることがある。再手術も熟練の醫師により慎重なる注意の下に行はるれば左程難事ではなく、又危險も先づ無い

何が何だか

二年前より尿が番茶の様な色になり、近頃は下腹部が常に重苦しく時に痛へ、空腹時には非常に胃か下腹がはつきりしないが痛く、はきけさへもよほし全身無氣力、便通もあまりよくありません病原は何でせう(十九歳男)

【答】瀬戸病院長 瀬戸潔氏

神經衰弱症ではないかも少し精細の記載がなければ何とも斷定的の事は申上げられぬ

一月の盛花 非常時の武人と その妻に似せて

[illegible]りの花盛と云ふだけでロマンチックな響きを感じ、路傍の塀越しに咲く花を見て一枝手折りたいと思ひ、さては机上に飾りたいと思ふ心は自然を愛する日本人の傳統的精神と申しませうか——花道は實に天然の美に一定の法則を以て人工技巧の美を加へたもので、此の技巧如何で花の生命は益々其の美を發揮することも出來るものです

寫眞の盛花の意圖は—— 日本を象徴する森厳な氣品を保つ松の生ふるあたり、可憐な白玉椿を楚々として點在させて調和を求め、松林のスケッチに加ふるに現下の非常時の武人と其の妻にも似せて生けてみました、雪州流家元 中村如遊氏

手合戰譜

第六局 (圖は前回▲五九歩迄の局面)

平手 △六段 山北孫三郎
先 ▲六段 寺田梅吉

△持駒 山北氏 角歩

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	[illegible]								v香
二		v歩	v飛			v金	v王	v銀	
三	v香		v桂		v金		v歩		
四	v歩			v歩		v歩	v歩		v歩
五			v歩						
六	歩		歩	歩		歩	歩		歩
七		歩	桂	金	銀				
八		銀	玉		金				
九	香				歩			v飛	香

▲持駒 寺田氏 銀桂歩

△四九角 7
▲六六金引 3
△五九飛成 2
▲六二銀 16
△五二歩 1
▲五三銀成 8
△同金
▲五五桂 26
△五四銀 14
▲六三金
△同金
▲同桂成
△同銀
▲七三飛成
△七二金

(持時間各九時間) 累計(山北氏 三時間五六分 寺田氏 四時間五二分)

觀戰記 味はふべき手運び 尚早の五五桂打

六段 飯塚勘一郎

山北氏が前回二九飛と攻防に利かせつゝ強襲の手段に出たは、駒得一の威力を發揮して非常にきびしい先であつたが、更にその繼續手段として四九角と先を取り、何時でも五八角成の味を殘して、一九飛成と香を利得した手順は、申分のない運びで、讀者は充分此間の手運びを味つて戴き度い、即ちこれなら後手の五四香打が痛烈に響くに違ひない、さらばと寺田氏も再び反撃の六二銀で敵陣に迫及の火の手を舉げる、が然し、この順だけ山北氏も前から既に讀み切つてゐたのか、五二歩と惜し氣もなく五筋に歩を下して手堅く防戦する、續いて先手の五三銀成を同金と拂つたけ、これを同歩でけ四五歩と突かれ、種々危險な味を生じるしいと讀んだ結果であらう

寺田氏の五五桂は事茲に至つては形勢不利を免かれないが、むしろ此處で七三飛成と隠忍して僅くのが本手ではなかつたか、敵の五四香には五六桂と凌ぎもあるから、無理に攻めて駒損を大きくしたのは遺憾である

後手六三金と拂つたは當然で、二九を同銀だと、同桂成、同金、五二飛成、四二金、六三龍で忽ち回復されて終ふ

寺田氏の七三飛成に山北氏が手堅く七二金と打つたは、五筋に痛烈な香打を狙つて、一氣に敵陣に肉薄する所存か？

賀正 祈皇軍武運長久

協力一致重大時局に對應せん

春川邑長 龍澤誠

聖戰 途上輝しき皇紀二千五百九十八年の新春を迎へ謹て聖壽の無窮を壽ぎ皇室の彌榮を祝し奉り併て國運の隆昌を祈り更に皇軍將兵の勞苦と奮闘に對し深き感謝を捧げ其の武運の長久を祈願することの此上なき幸福を感ずる

昨夏我國が東洋平和確立の國是に從ひ膺懲の師を支那に進めて以來半歳に至らずして既に黄河以北、内蒙古に至る北支地方を悉く靖し上海を攻略し首都南京を陷れ更に山東省を平定、遂に南京政府をして一地方政權に墮せしめ威武を中外に宣揚し更に聖戰終局の目的に向つて邁進中一方中華民國臨時政府の誕生あり各地新政權と共力して親日防共的新中央政府の成立を目し東洋平和の建設に向つて我國と提携握手、早くも明朗新支那の

實現 を見むとし茲に我國歷史的赫榮の着々として進行しつゝあるは一億國民の等しく欣喜措く能はさる所である、是一に御稜威の然らしむる所と皇軍將兵の忠誠に依る所なりと信ずるも第七十三議會開會に際し下し賜りたる御勅語の中に朕が戰役の國民亦克く協力一致時難に當れりとの優渥なる御言葉を拜す去る九月臨時議會に於て優渥なる破格の御勅語を賜りたるに更に今般是の有難き御諚を拜しては國民たるもの誰か恐懼感泣せざる者かあらうか

然か も次に朕曁臣民の忠誠に信倚しと仰せられてあり大御心を拜察し只々恐懼感激に堪へないのであります、我等は新春を迎へ重大時局に直面し皆等皇國臣民の責務一層重且大であり凡ゆる犠牲と困苦に耐へ協力一心鐵石の意志を持つて時難の克服に邁進し、聖戰をなし奉るの覺悟を堅くせむことを期する次第であります

幸に して昨年本道農村は豊作に恵れ當局の指導と相俟つて漸次振興の機運に向ひ、亦豐產三陟方面を中心とする地下資源の開發に伴ふ工業の勃興水陸の輸運其の他交通機關の復舊に依り産業の發展著しく總督閣下の御巡視の次で諸名士の視察あり久敷忘れられたるかの本道も漸く朝鮮に於ける重要道として認識せらるゝに至り十一月には本道として歷史的計畫であつたと信ずる江原道開發委員會開催せられ斯くて官民共に協力一致發剌たる江原道振興の姿に道內歡喜湧くか如き感を呈するを至つた、官幣社御鎭座の地たる當地は茂梨の聖地は山中友太郎氏多年の努力酬ゐられ漸く世人信仰の的ならむとし春川神社は新に素盞嗚尊及國魂命の御二柱を合祀し奉るの認可を與へられ道民守護神として國幣社御列格を期し皇紀二千六百年迄に御造營計畫成り既に敷地擴張工事の着手を見るに至つたことは國體の明徴を力說せらるゝの際一大快心事たるを想ふ

本邑 事業は時局關係に依り遷延の已むなきものあるは遺憾なるも當局の絶大なる御盡力に依り愈本年度より市街地計畫實施の運に至れるは慶賀に堪えぬと共に本計畫實施に對しては孫知事閣下此方當局の並々ならぬ御盡力に對し深き感謝を禁し得ない而して本邑は本事業の實施に際し多年懸案せられた幾多重要案件一時に殺到せるやの感あり極めて多端に秋を迎ふるに至つたのであるが既に着手せる京春鐵道の完成と相俟つて邑民共力一致理想的大春川建設の完成に一意邁進せねばならぬ、由來人の和は我か春川の誇るべき一事である、前年は事變發生以來官民各方面各位の御協力御援助を頂はしたること洵に甚大深く感謝する次第であるが本年も亦一層の御懇情と御後援とに依り相携へ以て邑勢の進展を圖ると共に銃後邑民の擧國一致的奉公を必期して時局の重大なるに對處し只管聖慮を安し奉らむことを誓ふものである

妻（つま）

小島政二郎作　宮田重雄繪　【148】

夫婦ならぬ夫婦（五）

雑誌はすぐ届いた。まだ櫻井が寝床の中で新聞を讀み終らないうちに、小僧が自轉車で届けに來たのだ。

「そこにすぐお讀みになる？」

梯子段の下から鈴子が聲を掛けた。

「もう來たの？ちよいと見せて――」

櫻井は、新聞を放り出して、すぐ雑誌のページを開いた。

一時間も立つたらうか、

「マダム。」

呼ぶ聲に上つて行くと、櫻井は目に一杯涙を溜めてゐた。

「讀んでごらん。傑作だ。」

涙でオロ／＼した聲でさう云ひながら、泣き笑ひの顔のまゝ、雑誌を手渡してよこした。

「僕は泣かされてしまつたよ。」

「……」

「あなたのことが書いてあるんだ。いや、あなたに家出された土居君の心境が書かれてゐるんだが……いゝよ。實にいゝ。」

「……」

鈴子には返事が出來なかつた。

「あなたに捨てられたと思つて、半狂亂になるんだが、だん／＼あなたの――いや、僕も登場してゐるんだ――あなたと僕との眞實が分つて來るあたり、流石に人の胸を打つてくる。」

「……」

「やつぱり土居君は、優れた藝術家だな。あなたや僕の心持を、正しく理解して摑んでゐる。一分の狂ひもないや。」

「……」

「あなたの家出の潔癖性を敬服して來るところなんか流石だな。」

「……」

「僕の戀愛も、ちやんと感じて、ちやんと許して、ちやんと安心立命してゐるところなんざあ、見上げたもんだ。」

「……」

聞いてゐるうちに、二人の男性の愛の眞實性に打たれて、鈴子は涙ぐんできた。

家出の際、櫻井は、かうした日のあることを豫言した。その豫言が當つたのだ。

鈴子に云はせれば、土居も偉いかも知れないが、かゝる日のあるべきことを豫言した櫻井も偉いと思はずにゐられなかつた。

自分との間を、顧みず、プラトニツク（精神的）な愛で押し貫いた櫻井の男性的な偉さには、一しほ頭が下つた。

どんなに感謝しても足りないと思つた。

「いゝ機會だから、こゝで一應東京へ歸つて入らつしやい。」

櫻井は、さう云つて鈴子に勸めた。

その晩、鈴子は、櫻井に送られて京都驛から懐かしい東京行の汽車に乘つた。

見送りに來てくれた櫻井が、

「そんなことはないと思ふけれど、萬一僕とのことを疑られるやうなことがあるといけないから證據に、これを持つていらつしやい。」

さう云つて、日記を一册窓から鈴子の手へ渡した。

ラヂオ　JODK

十二日（水）　第一放送

午前六時五五分　ニュース
同七時一分（東）基礎獨逸語講座（二）
同七時二〇分（東）朝の修養　非常時に賜りたる聖訓謹話（四）　貫理第三郎
同七時五一分（東）ラヂオ體操
同八時一〇分　今日の天氣見込
同九時二〇分（城）氣象通報
同九時四五分（城）料理獻立（櫻豆腐）
同（牛肉の葱間燒・湯葉）
同九時五五分（東）家庭メモ
同一〇時三〇分（東）家庭講座　胃腸病の養生　醫學博士　大森憲太
正午（東）時報外
午後零時五分（東）琵琶　川中島　山本旭錦
同零時三〇分　ニュース
同一時一五分　家庭劇樂二題（二）（朝鮮語・釜山）農村での劇樂　趙祥明
同二時三〇分（東）家庭講座　小資本の商賣案内（一）小商賣をはじめる心得　横溝〔illegible〕
同四時　ニュース外
同六時（名）兒童劇　戰勝の歌　名古屋金の城こども會
同六時二〇分（東）コドモの新聞
同六時二五分（東）速成支那語講座（二）
同六時五五分（東）カレントトピックス
同七時　ニュース外
同七時二〇分（東）國民唱歌指導〃愛國行進曲〃　深尾定之
同七時四〇分（京）講演　支那の動物の話　理學博士　駒井卓
同八時（釜）〃樹の葉〃
同八時二五分（東）室內樂（定期演奏第一回）木管七重奏　宮田清藏外
一、歌謠と舞踊
二、牧歌變奏曲
同八時五五分（東）ラヂオ小説〃小僧の神樣〃　汐見洋　若宮美子　坂本猿冠者
同九時三〇分（東）時報・ニュース外

第二放送

引續き（城）朝鮮語ニュース
同一〇時（城）地方へのニュース　銃後美談
同一〇時四〇分（城）ロシア語ニュース
同一〇時四五分（東）支那語ニュース
同一〇時五五分（東）英語ニュース
午後零時五分　俗曲　崔濟成
同一時一五分　家庭の時間　趙祥明
同六時　寶話劇
同六時三〇分　講演　童心會
同七時四〇分　講演　李根讚
同八時一〇分　講演　柳光烈
同八時二五分（東）特調　高永淙
同八時五五分　室內樂　ラヂオドラマ　金元浩外

十三日（木）　あすのきゝもの

午後零時五分（城）俚謠　李眞淑外
同二時三〇分（城）婦人の時間　美容の常識　貝沼梅子
同四時三〇分（東）大相撲春場所實況（初日）兩國々技館より中繼
同六時二五分（時）講演　東亞同文書院院長の支那都市に就て　大内暢三〔?〕
同七時三〇分（東）國民唱歌指導　馬場太郎
同七時四〇分（東）講演
同八時（東）謠曲　喜多六平太他
同八時四〇分（東）合唱　大日本聯合々唱團
同九時（大）ラヂオコント

ラヂオ小説【八・五五】　小僧の神樣

志賀直哉作　汐見洋外

今回AK文藝部が『小僧の神樣』を放送文藝として企圖するに際し作者の御快諾を得たので、吾々は作者の意圖する所を尊重しその持つ雰味を生かすためにあくまでも原作本位に重點を置いた、次に形式に於て在來のラヂオ小説と趣を異にする苦心の點は、坂本、汐見兩氏に地の文を交互に讀んでもらふ一方各自の持役の會話をそこに浮び出させるやうにしたことである。この作品は大正八年十二月の作で『屋臺の鮨屋に小僧が入つてきて一度持つた鮨を價をいはれ又置いて行く、これだけが實際自分がその場に居あはせて見たことである。此短篇には愛着をもつてゐる』と作者は言つてゐられるが、非常に温情味豊かな作品で鮨を圍つての江戸前の通と古風なのれん帳場格子や外壕を走る電車といふところにどことなくクラシックな味がある

×　×　×

神田の或る秤屋の小僧仙吉は帳場で番頭達が客の見えないのを幸ひ例の鮨の通を互ひに振まいてゐるのを聞き乍ら『どんな工合に旨いのだらう』と口中にたまつてくる唾をのみこんだ、二三日して京橋にある同業のSの所まで使にやらされた、番頭の噂に上る鮨屋はその近くである

彼はそれを横目でにらみ乍らいつもするやうに歸りの電車賃四錢を殘して歸りがけ屋臺にとびこんだ、宿念の鮨に手をのばした途端主に六錢だよとどなられて引つこめた、貴族院議員Aはそれを見て可哀想に思つたが御馳走してやる勇氣が出なかつた

彼は同僚のBから屋臺鮨の通を聞かされ是非にと思つて恰度やつてきたのだつた

數日後Aは幼稚園に通ふ吾が子の體重を知りたいので秤屋の秤を買ひに行つた、そこで例の小僧を見つけた。今日こそ御馳走してやらう彼はAを車に載せさせ仙吉に挽かして途中で車を返かせたまゝ噂に上る鮨屋へ連れて行つた、ガツガツ喰ふ仙吉を殘してAはそこを去つた、小僧は滿足したはずだのにAは變にさびしい氣がした、一方仙吉は空車を挽きながら考へた、一體これはどうしたのだらう、不思議だ自分の思つてゐたこと、欲してゐたことを皆知つてゐて、食べさせてくれるあの人はきつとお稻荷樣に違ひないと思ひこんでしまつた（終）

京日特選棋譜（11）

先番八段　雁金準一
先相八段　高部道平

白七十六より八十迄

熱戰近づく　覆面道人

彼我勢力の比較

さて今や兩軍互に地盤布陣漸り、熱戰の神熱せんとしつゝあり、黑（い）と云ふ劫爭があり、黑はこの機を窺ふの狀態であつて、白に一抹の不安が感じられるが、この劫の問題は少時措いて、兩軍の勢力を比較して見るとすると、上部と下邊の白地は合せて四十目に近く黑には上方から左にかけて地盤の形が出來てゐる

熟慮一時間

ここで白昨日七十六となり、今や黑は七十七と始め、七十九と進んだ。ここで雁金氏はこの二手に一時間近くを費したものであるが氏の離陸ぶりこそと思ひやられると云ふのは、黑七十七、七十九の二手は、白七十八、八十と書つて、上邊から左邊にかけての黑模樣を滅くした。だが、さりとて、黑七十七が（ろ）でもあれば、白に（は）と打つ手が出來た。左下隅の一子は脆い攻擊の的となる。斯くては左側に白地を與へ、更に深く踏込まれる危險がある。

左下隅の興味

高部氏の感想も、白（は）とは行けない、とあるが、つまり行く可くしてその手順が得られないといふことである。白七十八を（は）では黑七十八と來られ、白八十で（は）としても黑は八十のすぐ右に來るに違ひない。これは何れも左邊の白に惡影響をもたらし、上部の黑のみ擴大化される。

要するに黑七十七、七十九は（は）の手を得るための已むに已まれぬ行動であり、白七十八、八十も之に應じて斯くするの外なかつたと云ふことになる。ところで黑八十一は奈邊に運ばれるか？、兩軍熟考して際限なく、ラヂオの時報は夜の九時三十分を告げた。合戰と滿洲とは八時三十分だ、新聞原稿はこの邊にしておかないと間に合はない。

室內樂　定期第一回　8，25

宮田清藏外

室內樂といへば今までに絃樂四重奏とかピアノ三重奏がそれであると思はれる程しか紹介されてゐなかつた、今年はそれらの他の樂器の組み合せになる室內樂の紹介につとめたいと思つて、今年から月一回宛の定期放送の時間を設けた第一回は放送交響樂團の人たちが組織した木管七重奏によつてダンデイ、ピエルネの作品を紹介する

一、歌謠と舞踊　ダンデイ作曲

ダンデイの作品二十五番、フルート、オーボエ、ホルン各一、クラリネット、ファゴット各二、といふ編成によるもので歌謠調のなだらかな旋律と律動的な舞曲と對的效果の興味深い樂曲

二、牧歌變奏曲　ピエルネ作曲

昨年秋物故したガブリエル・ピエルネの作、フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン各一、トランペツトが加はりファゴット二本による組合せ、牧歌的な旋律をいろいろなかたちに變奏する樂しい音樂